夕刊
新京日日新聞

定價 一部金三錢 一ヶ月金八十錢
郵稅 一ヶ月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三〇〇〇番・二三五三番
發行人 大河 忠男
編輯人 松本 啓二
印刷人 十谷 二郎

內地商品見本市 本年より奉天で開催
各地より滿洲商人を召集し

毎年滿洲輸入組合主催の下に行はれる、內地商品の見本市は、例年大連で開催されるが大連は、滿洲に於いても地理的に南方に片寄り過ぎて居り且一般滿洲商人への接渉も殆んど隔絶されてゐる有樣なので、今回右總會に於いては、協和會の提案に基づき同協和會及奉天全省商務會、奉天省實業廳後援の下に見本市を滿洲の中央奉天に於いて、盛大に開催、各地より組織的に取引商品を同地に召集、七月二十三日より三日間奉天市場を賑はす事になつた、右は滿洲商人招待に關する斡旋は勿論國內商民の貿易振興上から各地の代表者を出席せしめて、商品の觀察、契約の取極めをなさしめて、日滿取引の圓滑を期する爲であるが、大體各地代表者數は千數百名の多數に上り、その振宛は左の如くである。

ハルビン	三〇	チチハル	二〇
吉林	一五	新京	三〇
撫順	八	遼陽	七
鞍山	八	本溪湖	八
安東	一五	鐵嶺	七
開原	一	四平街	二
公主嶺	七	西豐	二
山城鎮	一〇	朝陽	五
海龍	三	清源	二
八面城	三	洮南	八
鄭家屯	五	錦州	五
興城	三	綏中	二
盤山	二	黑山	三
義縣	二	新民	五
彰武	三	溝幇子	三
鳳凰城	二	山海關	三
北票	三	昌圖	二
其の他	五	西安	三

尙ほ右代表者の選出方法は協和會各地辦事處に於て仲介の勞を執り辦事處の設置なき地方に於ては各地縣參事に依賴することになつてゐる

林業法改正 近く完成公布されん

滿洲國實業部林業司に於ては現行林業法の改正の必要を認め法案の完成整備を急ぎ最近法案の一部を完成した、然し本案の施行は當業者に重大影響を及ぼすに鑑み愼重審議を重ねた結果尙案文中の一部の修正を行ふことゝなりその上で公布施行することゝなつた

興安總署の 畜産改良計畫

蒙古民族は、元來遊牧の民であり、牧畜を唯一の生活の資料とし、茫漠たる大草原を天惠の牧場とし、數百萬頭の羊牛豚等を放牧生活を續けてゐるが、これら蒙古地方の監督官廳たる興安總署に於ては、畜産改良の具體的計畫をたて一年度豫算に經費數百萬圓を計上、改良に着手する筈である、右案によれば先づ家畜特に羊の大集團地たる海拉爾に畜産改良の基本施設をなし、家畜飼管所を設け御斷より改

火の手を 擧げつゝある
對日經濟壓迫運動（上）

我國の聯盟脫退は滿洲問題に關して聯盟と意見を異にしたがためであつて、所謂聯盟と正面衝突して世界孤立となつたわけではない、併し乍ら聯盟勸告書を容れず既に脫退通告を發したる以上各國は對日制裁の種々なる方法を講じ來ることは明かであつて我國としてはそれぞれに對する充分なる覺悟と準備の要がある、對日制裁の採られ得る方法として經濟封鎖の全く不可能なる今日、各國對日經濟壓迫にその全力を集中し來るべく、既にこのことは漸次熾烈化せんとする傾向が各國に濃厚に動きつゝあるのである

□

その最も大なるものは關稅引上による邦品の拒否運動であらう。この運動は既に圓價安の脅威から屢々試みられたのであつたが、聯盟脫退は更に之に拍車さならう。過般インドに於ける人絹關稅引上げの如きは日本全體の輸出人絹織物に對するインドの地位から考へて、非常な打擊であらねばならぬ。而もそれが專ら邦品輸入防遏を目標としてゐることは、比較的日本品の少ない交織物布に對する關稅を輕微に止め日本品の最も多い双人絹布に對して殆んど禁止的高率引上げを斷行したことによつても明らかである。

更に英本國に於ては日本人絹及綿布に對する關稅引上げが從來しばしば論ぜられて來つたが、我國聯盟脫退後は益々その氣運が濃厚化した樣である。即ち英國人絹市場は邦品によつて著しく侵蝕され、大英帝國絹業協會の如きは「日本品をこのまま放任する時は英國人絹を見殺しにするものである」となし、人絹關稅引上げを關稅諮問委員會に提案し、委員會亦これに大いに動かされつゝあるが如くである。

米國の高關稅政策は周知の如く傳統的なものであるが、最近金融パニックによつてドル價が低落したとは云へ、聯盟と大體同一步調を探ることは明らかであつて、時に我國に對して高關稅を課して邦品阻止の擧に出づるは明らかである

□

我國の聯盟脫退後は各國が共同戰線を張つて陰險なる日貨排斥の擧に出づるであらうと觀る論者もあるが利害關係を異にする各國が同一行動に出づることは極めて困難であらうと思はるゝが、しかし我が貿易の重要なる地位を占むる支那のボイコツトは最近益々熾烈を極めてゐるから、この點わが貿易に甚大なる打擊である

農地開拓會社の資金 三四千萬圓程度
東拓新京出張所の增員も決定

〔東京十一日發國通〕東拓では滿洲農地開拓會社資金として三千萬圓乃至四千萬圓の融資をなす事に決定、尙は滿蒙開設に乘出すため新京の出張所を支社に擴張し臨時增員を行ふ事となつた

興安省の 防疫施設

興安總省に於ては、省內の防疫に萬全を期すべく、大同二年度豫算にこれが經費として十數萬圓を計上してゐるが、右は單にペスト、コレラ、チブス等對人的の防疫の外、同省と特に關係深き畜産の防疫にも考慮を拂ひ具體的計畫をたてゝゐる

大阪商工中心會 定期總會

〔大阪十一日發國通〕大阪商工中心會では十一日午前十時大阪實業會館に定時總會を開催目下滯在中の中島商相の臨席を得懸大阪府知事を始め會員約百名出席栗山會長の開會の挨拶に次で商相の挨拶あり後議事に入り

一、商工中心會を商工協議會と改稱し、國際經濟の混亂時に處する爲の調査研究
二、邦品の海外販路擴張に關する施設
三、貿易及び商工業に關する時局問題の研究並びに意見の發表
四、產業情況調査研究員の海外派遣
五、商工業會に於ける青年の指導並びに從業員の養成

等を決定し積極的行動をなし自力に依り商工業の發展を期することゝなつた

黑河ブラゴエ間の 航行開始さる

〔ハルビン十一日發國通〕南から吹きよせる暖い風に黑龍江の流氷も次第に姿を消し去る九日より黑河ブラゴエ間の航行が開始された

南米遠征に 選手派遣と決定

〔東京十一日發國通〕全日本陸上競技聯盟では、十日午後六時から常務理事會を開き、我陸上選手の南米遠征に關する件を協議した右交渉は、先方より條件承認の通知があつたので、大體選手を派遣する事に決定し、選手詮衡の委員として、上田精一氏、小山勝也氏、小山遼一氏、森田俊彦氏、織田幹雄氏等を任命、詮衡委員は、直に選手詮衡に着手し來る五月二十八日派遣選手の決定を發表する事となつた

四月末 國債減債額

〔東京十一日發國通〕大藏省發表＝四月末國債減債額は左の如し（單位千圓）

內國債	五、六六〇、三美
外國債	一、三兄〇、四西
合計	七、〇六〇、七〇
他に大藏證券	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
米穀證券	二一〇、〇〇〇

ニユヨーク 債券市場
國際協調の報を入れ急奔騰

〔ニユヨーク十日發國通〕本日の當地債券市場は世界各國間で緊密な國際協調行はれつゝありとの報で一齊に急騰日本政府公債六分半利は四弗八分ノ一の猛奔騰である

谷口大將 無事東京着

〔東京十一日發國通〕海軍特命檢閱使谷口大將は午前八時東京驛に到着したが、十五日午前十時宮中に軍事參議官會議を開いた上 陛下より御慰勞のため御陪食を賜はる筈である

外相參內訓 令案を上奏

〔東京十一日發國通〕內田外相は、午後四時宮中に參內、天皇陛下に拜謁、國際經濟會議に對する帝國政府の訓令を上奏御裁可を仰ぎ四時二十分退下直に渡米の途にある石井深井兩全權に右訓令案を打電した

帝國學士院 授賞式終る

〔東京十一日發國通〕帝國學士院第二十三回授賞式は十一日午後二時半より上野公園同院に於て開かれ、櫻井院長、姉崎幹事以下會員、齋藤首相鳩山文相、湯淺宮相等出席左の諸氏に夫々授賞し、首相、文相の祝辭があり閉會した、受賞者は左の如し

△恩賜賞
工學博士 辻 二郎
農學博士 鈴木 文助
△帝國學士院賞
醫學博士 石本巳四雄
△東宮御成婚記念賞
醫學博士 草野 俊助
同 小口 忠太
同 古武 四郎
理學博士 野村 博

怪人凱歌（二百十五）
（讀上前 映畫化）須藤鐘一
（畫）池 秋方

要求（三）

身の丈五尺六七寸もあらうと思へる、でつぷり肥つた體格、筋肉は隆々として腕から肩のあたりに瘤を生じ、見るからに强力無双の用心棒だ。

「ハツハ、、、生意氣な眞似をしやアがると、承知しねえぞ！」と、先づ大きく出たものである。

「何だ、奴原のやうな風をしたつて驚くものか！」

白瀨の部下も負けてはゐなかつた。口々に罵りながら、左右から蹴りかゝつた。

激しい格鬪が始まつたと見る間に、偉大な用心棒の身體には、ぐるぐると繩をかけられて、手も足も動けなくなつた上、不埒にも傍にある水田の中へパチヤリと投飛ばされた。その拍子に顏を泥の中へ突込んだ。

それに陷つてゐるではないか。之は既に、一會社と其の雇ひ人との小ぜりあひではなくて、實に人生上、社會上の大問題なのだ。——君が飽くまで頑張れば、會社としての意地だけはそれで通るか知らぬが、一方に一萬數千人の犧牲が出ることを考へねばならぬ。罪なき老幼男女が、路頭に餓死するの慘狀を呈する事になるのだ。苟くも人間らしい心をもつてゐるものに、此の慘忍冷酷を默過する事が出來るだらうか。——君たちに一片の人間らしい愛があり、正義に勇む心があつたならば、假ひ相手がなけもの、様な相手でも、必ずや其の愛に感じ、心に化せられて、自然にやはらぎ靜まるに違ひないのだ。勞資協調と云ひ、共存共榮といふのも、既に利害から割出した、冷たい心では、決して實現されるものでない。所が、お互に人間らしい心を心とし、人間本然の愛に甦ることが出來たならば、勞資協調も共榮も乾燥無味的に行はれ貸し借り交渉の現代に於ても、昔の主從關係にもまさつて美しい勞資共榮の生活が實現するにちがひない。——要するに、君たちに先づ第一に要求したいのは、我利我利に陷まつたジユー的根性を一擲すること、そして温かい人間らしい心を、胸の底から呼びかへすこと、之れである！」

白瀨は熱誠こめて說いた。

頭をさげて、おとなしく相手の言葉に耳を傾けてゐた松根は、

「……君のお話はよく分つた。我も此の際よく考へて見ます」と、心から言つた。

「よく考へてもらひ度い。そして自分の非が悟れたら、いさぎよく之までの態度を一變して、爭議の圓滿解決を計つて貰ひ度いのだ」

「よく分つた」

「其の言葉を忘れては困るぜ。僕たちは飽迄君等の行動を監視してゐて、若し約束の實が現はれない場合には、更に代つて君たちの頭上に鐵槌を加へる積りだ！」

「うむ……」と唸つて、もたげた頭部はすつかり泥まみれ。

此方はもう用心棒には見向きもせず、既に自動車に迫つた。

松根常務は、用心棒のむざんな體たらくを見ると、形勢容易ならずと考へたか、自動車をおりて路上に立つた。秘書の男は車內の一隅で蒼くなつてぶるぶると顫へてゐた。

「どういふ用件か、承はりませう。何か御要求の品でもあるのですか？」と、松根はおとなしく云つた。

「いや、僕らは斯う見えても、君たちから幾らの知れた口止め金を强請らうといふ考へなどは毛頭ない」と白瀨が進み出て云ふのである。「だが、松根君、君に要求したいのは、金ではなくて、人間らしい心なんだ！」

「何ですつて？」

松根には、すぐには相手の言葉の意味が呑みこめなかつた。

「いやさ、君に人間らしい心がないばかりに、今、國東製油會社の大爭議は半歲以上も繼續されて、職工家族七千人の大衆は食ふに及ばず、太野町住民全體が、非常な苦

東鐵問題いよ〳〵ソ満間を尖鋭化す
寛城子のソ聯從業員また不穩
護路警察隊で嚴戒

ソ聯の不法引込貨車、機關車の返還期日はいよ〳〵今十二日中となり、ソ聯側の不誠意、不遜極まる態度から到底圓滿なる解決は望めずソ聯側從業員また滿洲國側においてポクラのポイント閉鎖等彈壓的態度に出でんには全線にゼネストを敢行國際列車の運轉を停止し一切の責任を滿洲國側に歸せんとしつゝあり、一方滿洲國側においては罷業を決行するならばせよ直ちにこれに代つて運轉せしむべし、たゞ東鐵の財產たる給水塔、發電所、機關部等を破壞の擧に出んか直ちに逮捕檻禁すべしとなし目下兩者相對峙の形勢にあり、滿洲國護路警察隊はこれが看視中である、しかし右ソ聯側の强硬意見も幹部連のみの意見で滿洲國側の實力行使の際、下級從業員馘首されて後の生活問題が第一でいざゼネストとなつた際躊躇するものが相當あらうともみられてゐる

ゼネ・スト計畫

交通部の提示せる不法引込貨車及機關車の返還期日は、明十二日に切迫し、赴哈中の森田鐵道司長、森東鐵課長等は嚴重に成行を監視しつゝあるが、數日來の蘇聯側の不誠な態度から推して、圓滿解決は殆んど絕望視され、兩者間に極めて險惡な空氣が漂つてゐる、即ち蘇聯側では滿洲國側が近く第二段手段に訴ふるものと觀測を下し之に對抗する意味で、東鐵全線のゼネストを敢行、國際列車の運行を停止して一切の責任を滿洲國側に轉嫁せんとの作戰に出でんとする模樣で既に東鐵從業員組合幹部は、寛城子從業員組合に指令を齎して到着、本朝來鳩首協議に耽つてゐるが、更に確報によれば、滿洲國側が總罷業に備へる爲鐵路總局をして、從業員〇〇〃を奉天新京、哈爾賓に待機せしめてゐるとの情報に對し、之が對策して從業員のテロ化を計り全線のタンクを破壞して飽くまでゼネストの目的を遂行すべく、第二段計畫をめぐらしてゐる形跡あり、當局は寛城子組合のたゞならぬ空氣に嚴重に監視の目を見張つてゐるが成行重大視されてゐる

急ぐのは不利
八田副總裁陸相を訪問力說

〔東京十一日發國通〕八田副總裁は午前十時半陸相を官邸に訪問し、擴張事業新起業、東支鐵道買收問題、移民問題等につき懇談を重ね午前十一時十四分辭去したが副總裁は陸相に「東鐵問題は餘り急げば不利だ」と力說した模樣である

ソ聯にして誠意なくば
ポクラのポイント閉鎖

〔ハルビン十一日發國通〕李督辦は本十一時理事會にクズネツオフ氏を訪問して機關車貨車の返還を督促した上東鐵機構の改革に關し會議開催の提議をなしたがソ聯側が受諾するかどうかは豫測出來ず、滿洲國としては貨車は返さず會議開催も拒絕すれば誠意なきものとし、最後的手段即ちポクラのポイントを閉鎖する筈である

ロスタ紙の誤報で
森島總領事抗議

〔ハルビン十一日發國通〕過般タスと同一系統にあるソ聯の機關通信ロスタ紙は今回の東鐵貨車、機關車並びにトランシツト問題に關し在ハルビン森島總領事が滿洲國側在ハルビン外交機關並に東鐵滿洲國側當局を直接指導し居れりとて恰も同總領事が今回の問題の內面的中心人物なるが如き全然事實無根の報道をなしたるに對し過日森島總領事は在ハルビンソ聯スラウツスキー總領事を訪問して斯の如き虛構の報道の一般に及ぼす誤解は帝國政府の立場に關し相當に外間の疑惑を招來するの虞ある所以を力說し至急之が取消し方を要求せるに對しソ聯總領事はお申出を早速本國政府に申送るべき旨回答した

早川、長瀨兩部隊
敵陣を衝いて猛擊
數日の豫定が一時間半で陷落

〔奉天十一日發國通〕〇〇團の古北口方面攻擊は昨夜早川部隊、長瀨部隊の夜襲により早川部隊は八里梁の高地を、長瀨部隊は上旬子高地、老古鷄甸高地占領、同三高地は新開嶺陣地と共に第一線陣地にして同軍主力部隊は本朝五時半から攻擊を開始し七時までに殆んど大部分を占領したが、同陣地は堅固な爲め數日間の時日を要するものと思はれたが僅かに一時間半の攻擊で占據したので我將兵の士氣は愈々昂つてゐる、一方敵は祥水谷の附近より南方へ向け退却中である

沽源も既に陷落か

〔奉天十一日發國通〕沽源にあつた湯玉麟及び孫殿英軍は九日頃より張家口方面に向ひ撤退中にして沽源、北平間の電信電話線が不通の狀態である點から見て沽源も既に陷落せしものではないかと見られてゐる

潰走の敵を急追

楊杰が自ら計劃し外國人顧問に命じて工事を監督せしめたと傳へられる新開嶺附近の支那軍の陣地は中央軍第二師第二十五師及第八十三師の精銳を集め難攻不落を誇つて居たが我南部隊の猛攻により僅か數時間にして陷落し一部の殘敵は小新開嶺東南方三百八十六高地に僅かに餘命を守つてゐるが主力約五、六千の敵は午前八時三十分頃から午後三時半頃迄の間になだれを打つて南方に潰走した、鈴木、河原兩部隊は直に追擊に移り地上には〇〇隊の從橫無盡の活動と空中からは飛行機の物凄い爆擊を開始し夜に入るもその力をゆるめず一度つるた離れた矢は何處迄飛び行くかわからぬ

高田・松田兩部隊
敵の全滅を期し砲下に休養中

〔建昌營十一日發國通〕我高田部隊主力は九日來還安、建昌營間に移動し、還安の部隊は包圍せる敵と絕えず交戰、夜明けに至り砲擊殷々として目下（午前八時）城廓附近激戰してゐる

中松田部隊は、九日午前十一時撫寧方面より建昌營着、十日早朝高田部隊と共に敵の全滅を期すべく用意萬端をなし目下銃砲下の下に休養中である

敵軍猛烈に
高田部隊を砲擊
月明の原野に凄慘の氣漲り
彼我決戰展開さる

〔建昌營十一日發國通〕還安に入つた高田部隊は次期作戰上八日午後零時半より一部を還安城內に殘して〇〇方面に『移動』を開始したが、之を察知した敵は此機逸すなさばかりに執拗にも進擊し來り北門城外の道路兩側三キロに亘り約五六百米の距離に散兵し猛烈に迫擊砲、機關銃、小銃を放ち後方に殘れる一門の野砲は全力を擧げて北門を出發する我軍に向つて盛んに砲擊を加へ幾度か我縱列の眞中に砲彈落下したが、幸なるかな砲彈は僅かの距離で外れ、或は着彈しても破裂せず、被害は殆んどなかつたが黃塵濛々たる中を行軍路上の我軍に對し五キロ餘りの後方から適確に行軍縱列に打込んで來る軍旗を先頭に堂々移動して行く皇軍は僅か二門の野砲を以て友軍の掩護射擊を行ひ午後三時〇〇方面への分岐點部落に到着、王以哲及び翁照桓の精銳と對陣、十日早朝まで月明の原野に凄慘の氣漲る物凄い火戰は絕えず『彼我』の間に應酬され夜明け方よりは急射擊の砲聲、小銃聲殷々轟々正に決戰を展開しつゝある

反蔣運動撲滅の爲め
藍衣社系北支で活躍

〔奉天十一日發國通〕最近やゝ表面化して來た北支一帶に於ける反蔣運動撲滅手段として蔣介石並に何應欽に目下盛んに蔣介石直屬の秘密結社藍衣社を手先として、北支地方へ派遣し相當勇敢に活躍して居るが天津の爆彈事件列車內の爆彈事件、張敬堯の暗殺事件等これは藍衣社の所業にあらずやと見られてゐる

王以哲軍
小積にも進軍
我軍準備全く成り
愈々攻擊を開始す

〔建昌營十一日發國通〕灤河以北に退去した王以哲及翁照桓軍主力は我軍作戰移動を退去と誤認し小積にも反擊し來たり灤河以東に進出せるを以て今朝來我軍は之に對し正面より攻擊開始と共に敵の退路を絕つ爲〇〇隊は還安西方橋梁を扼すべく急進中、又船に依る渡河隊に對して攻擊準備全くなり將兵一同は支那最精銳軍を茲に、一擧に全滅せんと意氣込み、士氣益々旺盛である

古北口攻擊で
捕虜となつた支那兵
悲慘な支那軍の內情を語る

〔奉天十一日發國通〕古北口攻擊の際、捕虜となつた支那軍新兵の談に依れば、第二師第二十五師、第八十三師等の『部隊』は、新兵と古兵と半々の割合で、新兵は二ヶ月位の教育で戰場へ出されるものが多數で（捕虜は全部新兵）失業の爲已むを得ず志願したものも一部分あるが、大部分は强制徵集を受けたもので一家に青年一名及至二名の家は全部、三名の家は、二名徵集され、應ぜざれば嚴罰に處せられる、三等の兵卒は主に揚子江、河南邊りから來て居り、毎日教育を受けるのは、教練の外三民主義の講話だとか、日本帝國主義打倒、東京打倒熱河打倒、山海關打倒であり〝東京〟とは何處なるやを知らぬ者が多く又强行軍の際に落伍するものは、直に銃殺されると逃亡せんとするも言語異る爲果さず兵卒には、何等の娛樂なく『將校』は、後方で色々大娛樂に耽り、食量は米、粟、饅頭を主とし、大根の漬物を時々配給されるが、何の爲に戰爭するか知らず、只上官の命に服從し應ぜざれば直に銃殺の刑に處せられるので、恐怖の餘り戰場に出るので、給料は二等兵六元と規定されて居るも支拂を受けたる事なく僅か一ヶ月五、六十錢支給されるが、此金は自用品を買へばなくなる負傷した者は、一度治療を受けると後は振返つても見られない日本軍の砲擊さか飛行機の爆擊、機關銃の射擊は最も恐れ、日本軍の飛行機は支那軍の恐怖の焦點で、突擊に至つては實に物凄く、到底何も抵抗は出來ない、毎日毎日抗日抗日と教育されるの〝抗日〟に對する考へは相當しみ込んでゐる自分等の樣に捕虜となれば直ぐ日本兵に銃殺されると思つたが、『同情』ある取扱ひに對して寧ろ淚の出る程有難く、生命まで助けられて、何とも云へない嬉しさだ、一体我々は何の爲揚子江流域から戰鬪に來てゐるのであらうか、少しも事の眞相を解する事は出來ない

馮の北支乘取運動
遂に失敗に歸す
各將領悉く馮を去る

當地に達した滿洲國側の情報によれば四月中旬馮玉祥は反中央系各將領並に地方有力民を語ひ北支政權乘取り運動を第一歩として積極的抗日を名目に自己勢力の增大を計る爲張家口に抗日同盟本部を置き各地に分會を設け五月五日の革命記念日を期して活動を開始すると大々的に宣傳してゐたが、劉桂堂軍の多倫進出以來急に恐れをなし革命記念日を過ぎたる今日に至るもまだ何等の運動をなさず各將領一般民は漸くそのだしに使はれた事を悟り抗日團より影をかくす者續出し抗日團本部は最早名のみの抗日團で馮玉祥がその本據と頼む張家口に於てすら既に馮の威命は行はれず各地支部に於ては支離滅裂の有樣で馮の北支政權乘取運動の第一歩は完全に失敗したものと見られてゐる

何柱國
前戰へ出發

〔天津十一日發國通〕何應欽との間に今後の策戰に就き重要協議遂げた何柱國は本日午後北平發、北寧線正面部隊督勵のため前線に向つた

敵の遺棄死体
山野を埋めて橫はる
鬼氣迫る郭家台高地

〔奉天十一日發國通〕今朝五時半新開嶺正面第一線陣地に總攻擊を開始した川原主力部隊は敵の最重要要塞たる高地に突進七時郭家台陣地を占據した、敵の遺棄死体は附近山野を埋め、凄慘を極めて居るが、我軍の損害は極めて少數である、川原部隊は更に勇躍南方祥水峪附近より、南方に潰走する敵を急追中である

日滿文化融和の爲
陸軍で藝術使節を派遣

〔東京十一日發國通〕陸軍では日滿文化融和の第一歩として藝術使節を派遣するに決し彫刻家長谷川英作氏、一色五郎氏、日本畫家福永晴帆氏の三氏を選び長谷川、一色兩氏は十三日福永氏は十六日發新京へ向ひ約一ヶ月の豫定で藝術行脚をする事となつた

國民政府
駐外公使決定

〔天津十二日發國通〕國民政府外交部は駐外公使を左の如く決定した

チエツコ駐剳　李錦綸
ポーランド駐剳　錢泰
スペイン駐剳　金問泗
オランダ駐剳　胡世澤
スヰス駐剳　張謙
イタリー駐剳　張韻
ポルトガル駐剳　張乃燕
ベルギー公使は未定

在滿邦人慰問の代議士團
渡滿のコース決る

〔東京十一日發國通〕滿洲派遣軍並びに在留邦人慰問の爲派遣される衆議員滿洲慰問議員團一行は十二日午後九時四十五分東京驛發釜山、京城、奉天、撫順、新京、吉林、ハルピン、チチハル、山海關、錦州、承德、大連の各地訪問六月六日神戶着汽船で歸朝の豫定である

滿洲國情報所
開設披露

滿洲國總務廳情報處開設披露は十一日午後六時ヤマトホテルで開催、大使館陸海軍滿洲國各部日滿新聞通信關係等數十名列席宴酣なる頃坂谷總務廳次長情報處開設の挨拶と處長に川崎寅雄を任命川崎氏は外交部宣化司長を兼ねる旨披露、之に對し來賓を代表して關東軍第四課長坂田大佐の謝辭があり、更に川崎氏の情報處の任務に就いて抱負を述ぶる處あり、交々乾盃祝福し非常な盛宴であつた

滿洲問題に就き
米國へ警告す（一）
米國記者ナサニールペッファー論說

一九三一年萬里長城以北の地に於て日本及支那のみ關與して突發した滿洲事件は時間及空間的に孤立した事件として世人に取扱はれて居るけれども滿洲及北米に亘り百年前の昔に其の源を發するものである

今回の事變は在來爭鬪の最新局面であつてその時間的背景に於てのみ理解出來る事柄である今回の鬪爭は利權に關する二局面から成り立つて居る。支那と其の領地を勝手にして特權を確得し或は其の他の方法で支那の主權を無効のものとして了つた列强との關係が第一局面である問題は支那が其の獨立を取り返し得るか又は依然として外國の高等政策の餌食たるかに存するのである

第二局面は其等列强が支那を勢力下に置く爲めに起す列强相互間の爭鬪である

第一局面は僅に世界戰爭の副產物として東洋に擡頭した民族自決運動に始つて居る。七年以前支那は重にその目標を英國に置き其の他の西歐諸國には幾分緩慢であつた。三年以前からは全力を露西亞に注ぎ近年に至つては日本が支那に取つて最も容易ならぬ毀損であるところの滿洲確得をねらつた爲めにその目標を日本に向けるに至つた。

新しい民族自決運動の烽火に燃え立つた支那が滿洲回復に狂奔し出したのである。

抑も滿洲は日本に取つては日本が此處に勢力を得るに至つて以來のかの果實であり、將來經濟發展の源泉であり、數十億資本の投資場であり、帝國主義的威力の象徵であり、日本の權威を意味するものである。一步を進めて云ふならば國際政治と云ふ勝負に於ける日本の將棋の駒の役割を持つてゐるのが滿洲であるあめりか政府當局、聯盟總會、又はリツトン報告書なるものは不用意にも此の局面を忘れたのであらうか、日本は決して忘れてはゐないのである。

問題の歸結は支那の民族自決運動が成功するや否やに掛つて居る即ちスチムソン氏が日本のみを論じてその罪に歸しめるも支那に於ける侵略の結果を列强が放棄するか又は實力に依つて支那を屈伏するかの何れかに依て解決さるのである結果は至つて明であつて支那が如何に頑强に主張を曲げずとも避け得べき事ではない日本は武力を行使するの策を取つた爲めに一九三二年の事件が突發した。露西亞も又一九二九年北滿に於ける東支鐵道を自己主權下に置かんと支那が事を起した時これを回復せんが爲めに武力を行使した一九一八年以來西歐諸國は地球の反對側に居て武力を行使し得る立場に無かつたのである日本に取つては日本が滿洲を保持し樣が若しくは支那が取戾そうがそれ等は從的問題に過ぎない。此の事柄たるや支那及滿洲の何等考慮を拂つて居る事でないのであるが露西亞竝に合衆國が重要視して居るのである

人事往來

▲小畑少將（參謀本部第三部長）十二日午後三時三十五分來京の豫定
▲岡村參謀副長十一日午後十時大連へ
▲坪出二等主計正（關東軍司令部附）同上
▲室井少佐（鐵道聯隊材料廠附）十一日午後七時五十分來京
▲正木一等軍醫正（第〇〇〇團軍醫部長）十一日午後四時三十分安東へ
▲紺野二等軍醫正（ハルビン衛戍病院長）十一日午後三時三十五分來京
▲福本稅關長（大連）十一日午前八時來京
▲[illegible]氏政總長十一日午前九時奉天へ
▲中野少佐（關東軍參謀）十二日午前九時內地へ

團体

▲日本橋區教育視察團五名十二日午後零時四十分公主嶺へ
▲大阪福助足袋會社主催視察團十五名十二日午後三時三十五分來京
▲京都府立桃山中學生百名十二日午後零時四十分奉天へ
▲愛媛師範生六十八名十二日午前六時四十分來京
▲近藤利兵衛商店大阪支店主催鮮滿視察團六十五名十三日午前八時來京
▲大毎旅行團百八十名十二日午後三時三十三分來京
▲全國女學校長視察團二百名十三日午前六時來京同午後零時三十分吉林往復

經濟欄
海外經濟

▲銀塊及爲替　倫敦銀塊　同遠期　紐育銀塊　孟買銀塊　米英爲替　米日爲替　米支爲替　[illegible]

▲スチール株　アナンゴダ株　[illegible]

●綿花　米綿　現物　五月限　七月限　十月限　十二月限　一月限　三月限　[illegible]

●印綿　ブローチ　ベンゴール　オームラ　[illegible]

▲上海票金　昨止　高値　安値　本寄　步値　[illegible]

▲上海日本向　第一回　第二回　第三回　[illegible]

▲上海倫敦向　賣値　買値　[illegible]

▲上海紐育向　賣値　買値　[illegible]

▲大連金鈔票　現物　近値　寄付　步値　引止値　高値　安値　[illegible]

▲大坂株式　出來高　大株　大新　鐘紡新　大連株式　新京　同短期　[illegible]

▲大阪三品　五品　新鈔　豆錢　[illegible]

▲大連特產　●大豆　當限　六月限　七月限　八月限　九月限　十月限　先限　[illegible]

●豆粕　袋込　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限　[illegible]

●豆油　現物　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限　[illegible]

●高粱　現物　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限　[illegible]

▲哈爾賓特產　●大豆　五月限　六月限　七月限　[illegible]

●麥　五月限　六月限　七月限　[illegible]

新京市況
銀々祭につき休業

治法撤廢を目標に 司法制度確立に邁進
首都新京を司法中心地として 高等法院を新設す

滿洲國司法部においては治外法權撤廢の前提として司法制度の確立を期し、大同二年度豫算に九百萬圓を計上

一、司法官素質の向上
一、司法機關の整備
一、監獄設備の改善

の三大方針を樹て、目的達成に主力を傾注することとなりその第一歩として日本司法官の招聘を行ふとともに司法官の内地留學制度を設ける外新京に司法官訓練所を新設し、一個年の長期講習を行ひ司法官の素質向上を圖り、新京を名實ともに司法機關の中心地たらしむべく、高等法院を新設して、最高、高等、地方各法院を新京に集中する外、興安省にも高等法院を開設して蒙古人に對する司法機關を整備その他全滿各地の監獄設備を改良、囚人の待遇を改善して王道主義の恩惠に浴せしめ治外法權撤廢を目標として司法機關整備に邁進することとなつた

建國記念大運動會
代表委員協議
來る十五日文教部で

滿洲建國日滿聯合大會は滿洲體育協會主催の下に來月十一日全滿各地において盛大に擧行されることに内定、來る十五日文教部において新京、奉天、安東、營口、大連等の各地委員參集、具体的協議を行ふこととなつた

靴をかゝに韋駄天走りの客
料亭住吉一杯喰ふ

十二日午前一時ごろ市内富士町三丁目十四番地料亭住吉へ内地人客四名登樓し六圓八十錢を遊興午前三時ごろになつて他の客を見送るとて四名ながら玄關にいたり、直に靴を手にして東二條方面に逃走した旨新京署に屆出た

强盜の目的で來京し
刑事に見破られ捕はる

十二日午前二時ごろ新京署谷口、岳兩刑事が市内東四條通廿七番地北平棧前を密行中擧動不審の滿人が徘徊してゐるを發見誰何するや直に逃走を企てたので追跡逮捕し取調べた處黑龍江省生れ趙魁一（二五）で懷中に五連發廻轉式小型拳銃一挺、彈丸五發を所持し大屯から强盜の目的で潛入した旨を自白した、目下同署で余罪取調中である

蒙古代表
飛行機で來京

王道樂土を高唱してゐる滿洲國の視察並に溥執政、武藤軍司令官に敬意を表すべく十日赤峰から飛行機にて來京した蒙古の各盟代表者南烏珠穆一名、東浩濟特一名、東阿巴葛二名、喀喇沁在旗二名、及山本通譯の八名は驛前東發旅館に旅裝をといたが代表一行の豫定行動は左の如くである

十一日休養、滿洲國側の招待で日本文化紹介の活動寫眞觀覧
十三日午前八時から執政、午後三時半から武藤軍司令官へ接見
十四日豫備
十五日新京發奉天へ
十六日奉天見物
十七日奉天發湯崗子着宿泊
十八日湯崗子發大連へ向ふ
十九日大連見物
二十日大連出發歸還

なほ阿巴葛前旗右翼、阿巴葛前左翼の各代表及金通譯も來京の筈であるが未だ未着で日取も不明である

無屆で徴兵檢査を受けざる者
續々申告

【東京十一日發國通】昨年十一月徴兵制六十年紀念事業として滿二十才過ぎ無屆にて徴兵檢査を受けざるものは屆出る樣にと陸、海、外務、内務、拓務、司法六省聯合で自首申告を獎勵の所二月迄に四千六百八十名の申出あり、今回兩米邊りから申告あり時節柄注目されてゐる

娘々祭りの盛況

陣中美談（七）
國旗と共に敵陣に突入す
剛膽な國旗手の働き

歩兵第四十五聯隊第七中隊
陸軍歩兵上等兵　是枝　高麗夫

是枝上等兵は平素温良にして從順体軀稍貧弱にして一見柔弱なるが如きも出征以來極めて剛膽にして沈着、分隊長として常に部下を激勵し進みて難局に當り如何なる命令も欣然として服從し小隊長の最も信頼する所なりき偶々四月十日亂泥溝西方萬里の長城攻擊に方りては自ら日の丸の旗を高く持し彈雨の下を平然として常に先頭にありて前進し砲兵及飛行機との連絡に任じ困難なる斷崖を攀ぢ登る際も尚國旗を離さず、遂に國旗と共に勇敢に望樓に突入し敵を驅逐して逸早く之を樓上に樹立し、我軍の占領を普く知らしめ以て友軍の志氣を鼓舞せしのみならず、附近の敵をも潰走せしめたり、之實に責任觀念旺盛なるのみならず、剛膽にして餘裕綽々たる結果に外ならず、以て美談とするに足る（鹿兒島市西田町一〇七）

勇敢機敏の長城六勇士

歩兵第四十五聯隊第七中隊
陸軍歩兵伍長　田平　盛
（鹿兒島縣薩摩郡山崎村久富木一四〇）
陸軍歩兵上等兵　深道　政市
（同　鹿兒島郡東櫻島村湯之元二八二）
陸軍歩兵上等兵　磨島　吉信
（同　大島郡鎭西村大字渡連九一七）
陸軍歩兵上等兵　上川床榮藏
（同　揖宿郡指宿村西方六二八二）
陸軍歩兵一等兵　太田　榮助
（同　出水郡阿久根村大川八八九）
陸軍歩兵一等兵　折田　貢
（同　川邊郡川邊町清水一六〇八）

右六名は四月十日冷口北方一田亂泥溝附近より萬里の長城攻擊に際し第七中隊第一小隊の小銃分隊として急峻なる斷崖を意とせず巧に地形を利用して敵彈を潛り遂に長城の敵陣地前五十米に近迫するや不意に左前方の敵に發見せられ自動小銃の猛火を受け、尚後方の望樓より小銃を被るに至れり、而して傾斜は愈々嶮峻にして前進益々困難となりしが一同猛然として立ち城壁目がけ驀進し直に磨島上等兵は手擲彈筒を以て深道上等兵は小銃にて敵を射擊し其他四名は高さ二米の城壁に向ひ先づ太田一等兵を壁上に押し上げ次に折田一等兵、田平伍長、上川床上等兵等、上なるものは引き下ぐるものは押し協力して壁々に一據點を占め直に射擊を始して敵兵二名を射殪し尚磨島、深道の兩上等兵は追擊し間もなく手榴彈を投擲しつつ逆襲し來れる敵を擊退し續いて敵の左翼に向ひ戰果を擴張して小隊主力の該長城占領を容易ならしむると共に中隊の突擊をも容易ならしめたり、斯くの如く勇敢機敏にして協同一致の行動は實に現代戰鬪法に適合し一般の模範とするに足る

再度砲彈の下を潛り
任務を果せし勇敢な傳令

歩兵第四十五聯隊第七中隊
陸軍歩兵上等兵　宮島　敏彦

宮島上等兵は四月十日亂泥溝附近に於て迎支隊萬里の長城攻擊準備中突然敵砲兵の集中火を受け忽ち我歩砲兵の人馬に死傷續出し土壁家屋を破壞され慘憺なる狀を呈し忽ち修羅場と化せり、此時第一小隊は尖兵として左前方高地に停止しあり、聯隊は西方に轉進し長城を攻擊することになりしかば中隊長は第一小隊を召致すべく宮島上等兵に命ぜり上等兵は欣然之に服し左右に落下する轟然たる砲彈の中を潛り一直線に約六百米の同高地に到り命令を傳へ直ちに歸還せり、然るに右小隊の到着遲るるや直に同上等兵は砲火を物ともせず速に來るやう催促に走り最後迄傳令の使命を完ふせんが爲に奮鬪し其使命を果せり、斯く剛膽にして積極的活動し責任觀念旺盛なるは以て衆の模範とするに足る（鹿兒島縣薩摩郡高江村久見崎一〇番戸）

若葉の初夏麗かに
新京神社大祭
愈よ十四、十五兩日に亘つて
今年は一層賑はふ

國都の春はいま酣、杏花咲き若葉の色はえるけふ此ごろ、吾等が待望の新京神社春季大祭もあと一日をおいて宵宮に入るのだが、今年は建國景氣とともに軍國の春麗かに一層の賑ひを見せるであらうと目下それぞれ準備に忙殺されてゐるが當日は新京神社を中心に奉納角力、劍道、大弓等いろいろの催しがあり、煙火を打ち上げて景氣が添へられ、參詣の人々は晝夜となく詰めかけて終日大賑ひを見せることであらう、兩日の式次第は左の通り決定した

宵宮祭

十四日午後七時一同祓所へ參列
祓式　殿内へ參進　祭儀開始を申す　樂起る　開扉
獻饌　樂止む　祝詞奏上　玉串奉奠　樂起る　撤饌　閉扉（内陣のみ）樂止む　祭儀終了を申す　退場　直會
この間所要時間約三十五分

大祭

十五日午前九時五十分一同參集、午前十時幣帛供進使齋館社務所を出て祓所へ參進供進使以下隨員手水行事あり
祓式　殿内へ參進　祭儀開始を申す　樂起る　開扉
獻饌　樂止む
宮司祝詞奏上　樂起る　幣帛供進　樂止む　供進使祝詞奏上　供進使玉串奉奠（隨員列拜）宮司玉串奉奠（神職列拜）參列員順次玉串奉奠　樂起る　撤饌　閉扉（内外陣とも御扉のみ）樂止む祭儀終了を申す退場直會

この間約五十分で引續き午後九時一同參列閉扉祭を執行祓式、獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠閉扉、退出、直會の順序で終るはずである、因に當日の豫算は左の通り

項目	金額
供物	四〇、〇〇
紋菓子	一〇〇、〇〇
擊劍費	六〇、〇〇
花火代	四〇、〇〇
補助神職謝禮	一五、〇〇
臨時電燈料	一三、〇〇
ローソク足袋	一五、〇〇
人夫借	三〇、〇〇
神酒	七、〇〇
角力費	三〇、〇〇
大弓費	三五、〇〇
辯當代	九〇、〇〇
樂人謝禮	三〇、〇〇
健兒團謝禮	一〇、〇〇
設備運搬	三〇、〇〇

朝鮮人居留民會
會長、副會長を官選
これで弊害を除去

新京朝鮮人居留民會では從來會長、副會長、評議員の決定は民選であつたが徒らに黨爭をなし人格ある者が選擧されず常に會の發展を圖ることが出來なかつたため、今回總領事館においてはこの制度を遺憾とし今回會長、副會長は官選（指名）とし評議員の半數は官選、半數は民選に決定し、新會長、副會長は左の兩氏に決定した

會長　金東晩氏
副會長　金昌東氏

商業生を裝ふ
怪盜の被害千余圓
近く檢事局へ送らる

市内日本橋通中谷時計店、中央通森洋行、吉野町渡邊運動具店へ客を裝ひ時計、寫眞機を專門に窃取した元商業學校生徒松浦一郎（一七）＝（假名）＝外四名は既報の如く新京署に檢擧され取調中であるが判明した被害は千四十二圓の多額に昇り係官を驚かせてゐるが近く一件書類を新京總領事館檢事局に送致することになつた

稻垣吳服店々員
逮捕さる

市内吉野町稻垣吳服店店員伊藤勇吉（二八）は既報の如く同店集金三百余圓を橫領行方を晦してゐたが十二日三笠町東京旅館に潛伏中を新京署谷口刑事に逮捕された

待遇問題で
滿鐵社員座談會

十二日午後七時より驛貴賓室で大連より來京した伊藤幹事長を中心に滿鐵新京評議員出席の下に社員の待遇問題等に關し座談會を開催する豫定である

圖們建設事務所
移轉

既報の通り新京に在つた滿鐵吉林建設事務所は吉林省圖們（通稱灰溪洞）へ移轉圖們建設事務所と改稱した因に右所在地は朝鮮咸南北陽郵便局管内

義捐演藝會
純益寄附

去る四月三十日新京正派絲友會の主催で東北震災義捐金募集の箏曲舞踊音樂會は總收入二百五十六圓四十錢中から諸經費百五十四圓十錢を控除し殘金百二圓參十錢也を三陸震災地に寄附の手續を終つたとある

三十萬圓で
新發屯に消防署新設

首都警察廳では急激な勢を以つて發展する新發屯の將來に備へる爲新たに經費三十萬圓で最新式設備の消防隊を設置することとなつた

斷食中のガンヂー氏
黄疸病を發す

【ニユーデリー十一日發國通】八日以來斷食苦行中のガンヂー氏は愈々衰弱の度加はり昨夜は殆んど眠れず十一日に至り

ガンヂー夫人
釋放さる

【ニユーデリー十一日發國通】ガンヂー氏と共に不服從民制度を稱へた爲去る二月八日以來逮捕入獄中のガンヂー夫人は十一日無條件で釋放を許可された

中國へ
（首都警察の續き）つて遂に黄疸病を發した爲にアンスーエリ博士は急遽プーンナに向け出發した

五、一五事件の海軍側被告
十名乃至十一名起訴

【東京十一日發國通】五、一五事件の海軍側被告の起訴不起訴を決定すべき監査官の意見書は既に脱稿し司法省側の發表文案と照合の上大角海相に提出の筈であるが大角海相は右に基き起訴を命令し公判開廷の段取りであるが、共犯中の五名が六名は不起訴となり起訴者は十名乃至十一名で公判時期は六月下旬か七月上旬で陸軍同樣全部叛亂罪となる模樣である、一方陸軍では豫審調書の調整を終り檢察官に移牒したので、檢察官起訴不起訴の調書審理を開始したが最後決定は多少遲れる模樣である

公表文完成
十二日定例閣議に附議

【東京十一日發國通】司法省刑事局池田主席書記官の手許において起草中であつた、五、一五事件の公表文は、十一日全部脱稿を見たので、木村刑事局長は、皆川次官と打合せを行つた上、小山法相の手許に提案し、決裁を求めてゐるが、法相は之を閲覽の上、荒木、大角兩相の同意を求めた後、十二日の定例閣議決定

松茂洋行代表
手塚氏逝く

新京東二條通り合資會社松茂洋行代表手塚豐次郎氏は宿痾の療養中の處病革まり十一日午後四時遂に死去、氏は長野縣松本市の人早大商科の出身先代大次郎氏沒後繼承した食料品石炭販賣を合資組織に改め代表社員となり敏腕を揮ひ又長春商業會議所副會頭長春地方委員會委員長野縣人會長その他公私に盡すところ多く未だ春秋に富む氏の長逝は一般から痛惜されてゐる享年四十三歲、因に葬儀は十三日午後四時曙町長春寺で執行される

すること、なつた、發表の時期に關しては、司法省當局は豫審終結決定する十三日を期して、發表せんとの意向だが、陸海軍及内務省方面の希望もあり、或は二、三日の延期を見るかも知れぬ

幕末異聞 愛慾火箭（あいよくひや）

作 瀧川駿
畫 村瀨洗舟
（上海上映）

（五十三）

反魂香（六）

にやり笑つた傴僂の源の白い歯が、灯影で無氣味に光る。

『首領、これですぜ。へゝゝ』

源は嬉しさの餘り鳥が翅叩きするやうに、兩手を振り乍ら斯う言つた。

四郎太の眼前へ曳き出された道中姿の旅人二人。それは利八に久三だつた。

いづれも重傷の爲に、正氣を失つて昏睡狀態であつた。

『胴を拔いて見ねえ』

『へえ』

傍に控へてゐたのつぽの辰は、のつそりとした手附きで、二人の胴卷を引き出した。

『ほゝ、五十兩。[illegible]者にしちや大金持だ』

四郎太は驚いたやうに斯う言つて、ニヤリと笑つた。

『えへ、へ、へ……』

傴僂の源は、四郎太の笑ひ顔を見ると、さも嬉しげに笑つた。

『死骸は用がねえ。裏の井戸へほうり込んで置け』

四郎太の言付に從つて、のつぽの辰がのろい手附きで、今まさに手をかけやうとした時であつた。

『まあ、待つてお呉んなさい』

薄暗い部屋の隅から斯ういふ聲がした。それは矢張のお君だつた。

『おゝお前はお君、何時戻つた』

『今しがた』

『何處へ行つて居たのだ?』

『ほゝゝ』

お君はたゞ艶麗に笑ふばかりだつた。

『だがお前は、止めて何うしやうと言ふのだ』

『妾に考へがあるから任して頂いて下さい』

『さうか、自由にするが良い』

四郎太は滿足さうに言つた。

『のつぽの、床を取つてお呉れなね』

『へい』

辰は不承不精に、次の間へ床を敷き延べた。

『濟まないが、首領の所へ行つて膏藥を貰つて來てお呉れ』

お君は、床の上に寢かされた利八と久三の枕元にかゞんで、ぢつと二人の顔を眺めてゐたが、傍の辰に斯う聲をかけた。

『へイ』

辰は調子はづれの返事をして立ち上つて行つたが、間もなく四郎太から膏藥を貰つて來た。

山窩に傳はつた妙藥の効は、あらたかだつた。二人はぐんぐん正氣付いて來た。

この藥の効目の早いのに、辰は驚いて、

『源兄貴の礫が、斯う早く癒るとはね……』

辰の感心する通り、この傴僂男の礫を一度喰つた者は大抵命もので、癒つても不具者になるのだつた。あんな小さい身體で、何處にこんな力が有るかと思ふ程、源の礫は强かつた。十丁の距離なら大抵、五丁以內から、蜜柑でも礫でも百發百中だからだつた。

それは、二人が全快に近い或日のこと。

『おい八さん』

ぶらり〳〵病後を歩いてゐる、利八にお君は聲をかけた。

『姐御、何か御用ですかい』

『一寸お前さんに賴みたい事があるのだが……』

『何の用ですッ?』

『お前さん繪が描けたね?』

『へえ浮世繪の方を、江戸に居りやした時分一寸習ひましたので……』

利八は頭を掻きながら、斯う言つた。

『妾の身體を繪に描いて貰ひたいのだよ。繪が描け上りやお禮として、首領に賴んで山窩から下してあげやう』

『え、——あの俺いらを江戸へ歸して下さるんで——へい有難う御座います。描きやせう、この利八が命に替へて立派に描き上げませう』

五月十三日　舊四月十九日
土曜　己卯　佛滅　開　女宿

●一白の人　氣を散かさず專心業務を勵みて內に在が吉　庚と辛と丑が吉
●二黑の人　次第に運盛に向はんとす諸事愼重に努めよ　丙、戊と亥が吉
●三碧の人　天の助けある大吉日發展意の如くなるべし　甲と庚と癸が吉
●四綠の人　平穩無事の日なりと雖も飲食注意なく病む　乙と庚と壬が吉
●五黃の人　成衰の分れ日なり萬事に心を用ひ安全たれ　甲と丁と亥が吉
●六白の人　地位は低くとも運途壯にして希望計畫成る　丙と丁と申が吉
●七赤の人　分限を守り奢實を失はざれば安全なるの日　甲と申と亥が吉
●八白の人　運氣は本よれども人に逆へば凶變する事あり　乙と丁と戊が吉
●九紫の人　思慮足らずして意外の困難に遭遇する凶日　甲と乙と丙が吉

▷南滿線

驛
大連開
周水子
金州
普蘭店
瓦房店
熊岳城
蓋平
大石橋
海城
湯崗子
鞍山
遼陽
蘇家屯
奉天到
奉天開
鐵嶺
開原
昌圖
四平街
公主嶺
范家屯
長春到
長春開
范家屯
公主嶺
四平街
昌圖
開原
鐵嶺
奉天到
奉天開
蘇家屯
遼陽
鞍山
湯崗子
海城
大石橋
蓋平
熊岳城
瓦房店
普蘭店
金州
周水子
大連着

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

旅券の査證を滿洲國でも拒否か
不承認の諸外國に對して
當局で對策考究

ジュネーブよりの新聞報道によれば國際聯盟の滿洲國不承認文化委員は去る十日報告書を審議した結果滿洲國不承認を實行する事の殆んど不可能にして

＝聯盟＝　自體がその無能力を暴露した恐らく報告書が聯盟に於て採擇せらるゝとしても滿洲國の嚴然たる獨立性とその存立成長に對しては何等の支障もないであらう、唯旅券に關しては滿洲國の旅券を無効とするといふのであるが滿洲國發行旅券所持者の他國の旅行をこはむ模樣である、そこで滿洲國政府に於てはこの問題に對して相互主義の

＝原則＝　にもとづき滿洲國の旅券を認めぬ國の旅券はこれを認めざる事を餘儀なくされるわけで從つてこの度新設される國境の旅券檢査所に於て當然査證を拒否する事となるべく當局はこれが對策を考究中であるが何れにしても右の聯盟報告書が聯盟國に依つて採擇され實施の運びとなるは未だ先の事であり果して其の最後的決定が如何樣になるか不明である

＝旅券＝　問題の如きは滿洲國人にして滿外に旅行する者極めて少數なるに鑑みこまるのは寧ろ先方で當局としてはあまり痛痒を感ぜぬ、又外國新聞記者等の來滿に際しては滿洲國不承認を楯に當國の主權を蔑視するが如き行動ある者に對しては相當の手段を考慮する事となるであらうといつてゐる

不良外人に斷乎たる處置
哈市英字紙記者の國外追放を要求

哈爾賓英字紙「ハルビンヘラルド」の記者ノックスシムプソン滿洲國當局では數回警告を與へたにかかはらず赤化反滿の記事を掲げ滿洲國秩序を亂す行爲を改めぬので、滿洲國政府に於ては十日外交部北滿特派代表施履本氏をして英國總領事ガルスチングロ氏に對し同人の國外追放を要求する嚴重な通告をなさしめた、滿洲國政府ではこれを機會に存在を輕視しあえて策動をなすが如きこの種の行爲ある不良外人通信記者を一掃すべく斷乎たる處置を講ずる筈である

滿蘇東西兩國境とも實力封鎖せん
飽くまで蘇聯側に誠意なく
滿洲國の最後手段

〔ハルピン十二日發國通〕東鐵蘇聯側の東輸不法搬出に對して曩に滿洲國側の通告した返還要求期限は愈々殘す處十數時間後に切迫し、十二日午後十二時を以て滿了する事になつたが、蘇聯側は只今迄の處返還の意志を表示しないので滿洲國交通部では期限後は萬已むなく實力を以てポグラニチナヤをも封鎖する手段を講ずる事とならう、尤も此の東部國境封鎖は世上噂される如く十三日を限つて、速急に着手されるものではない模樣であるが、ポグラニチナヤ封鎖の曉は滿洲國東西兩國境は蘇領と絶縁されトランジツトは完全に抑止される譯である

日本より近く對蘇通牒を發す

〔東京十二日發國通〕中東鐵道問題を繞る日蘇並びに蘇滿交渉は目下モスクワ、東京及ハルビンで夫々交渉を進められつゝあるが、五月十二日は

＝滿洲＝　國より蘇聯邦へなせる東鐵貨車返還要求の最終期限なるを以て、我外務當局は之が對策に腐心中である、而して外務省としては滿洲國の外交方針に對しては勿論何等干渉容喙する筋合のものならざるを以て東鐵問題に關する滿洲國獨自の見解をとることは當然な理としてゐる、然しながら現在日ソ關係に於ては東支鐵道賣買問題をはじめ、日、滿、ソ三國の國境紛爭解決協同委員會設置案等の問題が山積してゐるため、日、滿、ソ

＝三國＝　關係については出來るだけ合理的且圓滿に運ばんとし、右方針に基き對ソ通牒の起草を急ぎつつあり、右通牒は近くソヴィエート側に交附される見込みである

支那の抗議理由なし
委員長の聲明

〔モスコー十一日發國通〕ソヴィエート聯邦外務人民委員長リトウイノフ氏は十一日東支鐵道問題に關する重要聲明を發表した、右聲明に於いてリトウイノフ氏は東支鐵道讓渡をモスコー駐劄大田爲吉大使に申出たる事實を認め蘇聯政府が東支鐵道賣却を決意するに至つた事情を明かにし進んで奉露協定を根據とする南京政府の抗議が全く理由なき事を明らかにして居る

灤河を越えて阪本部隊猛擊
西部隊　匪鎭を占領

飛行機よりの報告によれば西部隊は昨十一日夜石匣鎭を占領した高田部隊は遷安を占領後部隊を集結したるも支那軍はこれをもつて我軍の交代するものと判斷し灤河右岸に出擊し來れるをもつて阪本部隊の主力はこれに反擊を加へるべく十二日午後七時三十分全線をあげて灤河を越へ敵を追擊中である

高女校長の視察團顏觸れ
けさ六時で來京

京城に於ける全國高等女學校長會議を終へた全國高等女學校長、滿洲旅行團一行はいよいよ十三日午前六時四十分着來京することになつた一行の顏觸れは左の通りである

△東京　市川源三　阿部利八　伊藤清一　三輪田元道　泉道雄　市古由太郎　石橋藏五郎　岩佐ゑい　戸野みちゑ　可兒德　鈴木秀男　青木あさ　河口愛子　宮川ヒサ　大江スミ　大妻コタカ　西野辰二郎　濱幸次郎
△北海道　林造酒太郎　新鄕法灌　武宮環　松山亮
△茨城　安藤專太郎
△千葉　吉野誠治
△栃木　吉田庫造　上野專司
△群馬　小坂倫藤作
△神奈川　帶宮仙之助
△長野　松本寛次
△靜岡　小倉隆藏　高部勝太郎　五十嵐丁悟　伊藤眞吾
△新潟　川崎利太　赤松爾治
△富山　山田美禧
△石川　福田謹四郎　中澤正七
△福井　石橋重吉　野尻新太郎　五十嵐均平　富澤治作　西田幸一
△愛知　正木政治　山本嘉一
△滋賀　猪山正弌　林英三　市村與市　小林庸吉
△三重　太田誠一郎
△京都　稻掛忠次　武用隆吉　瀬尾サカ　水野隆樹
△奈良　清水儀六
△大阪　曾澤龍平　奥村鶴松　東辰藏　山田梅吉　荻原太郎　藤井ショウ　生田晄之丞　佐藤丁秀　川口德松　吉川芳三郎　白井繁太郎　大島文次郎　木村郁三　實賓達治郎
△和歌山　水田敏太郎　松扉得悟　窪田公平　鈴木喜一郎　榎阪由助　吉田桐野
△兵庫　中尾泰昵　横山六郎　多田德助　山鳥吉五郎　神谷怡之吉　佐藤惠　表甚六
△岡山　飯山慶助　谷千夫　片岡庫太郎　鳥越保太　明部晉明　西森元
△廣島　宮地務二　福山恒治　妹尾盛親　上田武彦　宮島敏三　渡邊豐市　岡構眞一　有田好縄　井上調　中村番　吉津庄次郎　今堀友一　東原信之助　菅野宇市　福島養閑
△鳥取　垣内春雄
△山口　細田新藏
△香川　石野悌　重藤省一
△愛媛　宮崎小太郎　柴山貞
△德島　桑江夢風　佐藤京橋　樋口清二　關根臺治郎　窪田秀藏
△高知　宇佐見章　竹中常喜　甲藤義治　小出悦哉
△福岡　村田平三郎　澤田一總　田中次郎　松尾秀雄　竹本好郎　小林繁樹　山本通　藤田周三　公本寛吉　佐々木正照　園田次芳
△大分　宮崎直　眞透仙一　原澤義太郎　玉井三郎　田島光信　吉留丑之助　岩田浩
△佐賀　牛島眞夫　大塚岩市　山口助二
△長崎　櫻井香織　大西祐八
△宮崎　鷄出定方　河野初二
△鹿兒島　宮里才藏　姉井弘　中保政義　姫野亨　片山重一　松岡三雄　池見利夫　大井徹翁　早坂留平治　屋代憩太郎
△朝鮮　伊藤千平　坂田政次郎　管猪之介　牟田平七　野村勝之助　野々村修瀛
△臺灣　三島チカエ
△青島　塚本清吉　山本泰藏

うつかり入院も出來かねる？
退院のお土産には天然痘の洗禮
手不足やら設備不完全やら
新京醫院の此ごろ

猩紅熱、チフス、赤痢天然痘ときてはコレラ！聞いただけでも戰慄する乙等惡疫が新興滿洲國の首都を誇る新京を取りまいて二十萬市民の生活に陰慘な影を投げてゐる、今この

＝病魔＝　驅除の唯一の機關たる新京滿鐵病院を見るに全くお話にならぬ現狀である、同病院には目下入院加療中の患者總數は三百餘名であるが、これに對する醫員の數は二十名に過ぎない、而も乙等醫員は毎日多數の外來患者の診察、出張、往診等多忙を極め、入院患者に滿足な加療も出來ず天然痘の如きは十二名もの患者を詰め詰にし手當が行き屆かぬばかりでなく、二名の附添人まで傳染する醜態を見せてゐる尙甚しいのは猩紅熱で

＝入院＝　加療中であつた民政部某科長夫人の如きは癒えて退院間際に、天然痘患者と同室させる等、天然痘を感染した事實まである、此等は全く設備の不完全に基くのであるが、人手の足りぬ所から患者に對し滿足に治療を加へる事が出來ず、又一視同仁たるべき醫術が日滿人に對する待遇に差別を生ずる等各方面よりの甚しい非難を浴び、同病院事務室の机上は連日、設備不完全を罵る投書が山積してゐる、同病院は年四十萬圓餘の

＝收入＝　を擧げてゐながらその支出は漸く二十萬圓に過ぎず殘額は本社へ送金されてゐるが此の崇高な仁術によつて得た金はとしづめ醫院の擴張施設の完備に投じて貰ひ度いとの望する向が多い

他病院より死亡率は高い
遺憾至極と塚本院長談

なほ塚本院長は次の如く語つた

舊東北政權時代アメリカが滿洲各地の米人宣教師に醫術を修得せしめて派遣して居たこれがため

＝戰亂＝　の中に在つて各地の宣教師たちは何等の迫害を受ける事がなかつた、仁術たる筈であり乍ら、設備の不完全と人手の不足から一視同仁たるべき日滿人に差別的待遇を與ふるが如き事がありとせばこれは由々敷き大事である當病院入院患者の死亡率は他病院より高く又猩紅熱、チフス、赤痢、コレラ等今年も乙等傳染病が

＝次ぎ＝　次ぎに襲つて來るであらうに經費の不足から積極的なる防疫も出來ぬのは遺憾至極です

敦圖全線開通
愈よ十五日から開始
同時に南陽、圖們間も連絡

敦圖線は來る十五日から全線一齊に假營業を開始するが同時に朝鮮雄基と連絡、の南陽圖們間の連絡運輸も開始されることとなり鴨綠江と相對しここに二大鐵橋により鮮滿鐵路の連絡が完成されたわけである、なほ假營業期間中の營業時間は左の如くである

敦化圖們間直通

列車	時刻	
七〇一號	六、〇〇	敦化發
列車	一五、一五	圖們着
七〇二號	一三、〇〇	圖們發
列車	二二、三三	敦化着

圖們南陽間
（南陽驛發着は朝鮮時間）

列車番號	圖們發	南陽着
九〇一	六、〇〇	五、〇八
九〇五	一一、一〇	一〇、二八
九〇三	一〇、一〇	九、一八
九〇七	一六、〇〇	一五、〇八

列車番號	南陽發	圖們着
九〇〇	六、〇〇	七、〇八
九〇七	一一、一〇	一二、一八
九〇二	一〇、一〇	一一、一八
九〇六	一五、四〇	一六、四八

第一回衞生委員會

十七日午後一時より地方事務所長室に於て本年度第一回衞生委員會が開催されるが目下附議事項作成中である

滿洲電氣協會總會
出席者に割引

滿鐵では二十七日大連で開催される社團法人滿洲電氣協會第五回定期總會出席に對し左記規定により運賃の割引を行ふ事に決した

一、割引期間五月二十五日より二十七日まで
二、通用期間發賣の日より二十八日まで
三、割引率二、三等に限り普通運賃の二割引
四、割引區間沿線各驛より大連往復

新京輸入組合
四月分の成績

△貸付及回收　本月中貸付額一四七件金九萬參千七百七十八圓也、回收額一五九件金八萬三千六百五十六圓也本月末殘高二三五件金二十六萬一千一百七十七圓也

△仕入先　一、內地金二萬七千三百三十六圓也三、滿鮮金二千九百八十圓也四、現地金五萬九千九百九圓也九、合計金九萬三千七百七十八圓也

△組合員持口數　四月現在組合員百七名、普通出資三〇六七口特別出資口七五八口合計三、八二三口

△出資拂込額　四月現在普通出資拂込額金十五萬三千三百五十圓也特別出資拂込額金三萬四千九百八十圓五十錢也ニシテ、合計金十八萬八千三百四十圓五十錢也

△歸賃傳票　本月中取扱高金一萬三千七百七十五圓十四錢也取扱店數七十二店使用個所六十三個所使用人員六七一名

中野砲兵少佐
新京發赴任

事變以來今日まで關東軍作戰參謀として不眠不休の活躍をなして來た中野砲兵少佐は今回千葉砲兵學校教官に榮轉、十二日午前九時軍司令官代理萬成副官、小磯參謀長、岡村副長、橋本憲兵司令官、多田少將等關東軍首腦部以下五十名の盛大な見送りを受け新京出發赴任の途に就いた

林檎の關稅
高くなつて立ちゆかぬ

〔安東發〕滿洲國の輸出鎭南浦林檎の關稅は昨年十一月七日滿洲國財政部の布告に依り一ピクルの課稅價格二、六〇金單位であつたものが現在林檎價格の下落せるにも拘らず等の理由なくして順次率を引上げ五金單位にもなつてゐる爲め大連稅關にて五金單位を採りたる關係上四、五金單位を實施新る高率の關稅では當業者が立ち行かぬとし鎭南浦產業組合幅田理事はこのほど來安、安東稅關と折衝し或る程度までの稅率緩和方を懇請し歸鮮した

新紙幣と補助貨幣
いよいよ近くお目見え

既報滿洲國中央銀行では國幣の國內流通を一層圓滑ならしめる目的の下に五圓紙幣及五角、一角五分、一分、五厘の補助貨幣を發行すべく印刷鑄造中であつたが愈よ六月一日よりセピア色の美しい色で一圓紙幣と同樣の模樣と大きさの五圓紙幣が一般に顏見世する事となつたなほ奉天造幣廠で鑄造中の補助貨も今日中か遲くも來月早々發行される豫定となつてゐる

高山東拓總裁
記者團招宴

滯京中の東拓總裁高山長幸氏は十二日正午大和ホテルに東京新聞通信者代表二十數名を招待午餐會を催したが宴酣なる頃高山氏の挨拶があり自分今次の新京訪問は何れ東拓として爲すべき事があり世の觀察を冤めてゐるがねばならぬ仕事は多々あるが先づ差當り從來は駐在員を置いた新京に支店開設の機運に到達したるや否やの實地調査と建設第二年に入つた滿洲國各地の實情視察が主なる目的であると語り之に對し箱田新京日報社長一同を代表して謝辭を述べ次いで歡談二時散會した

大氣と氣溫

けふの天氣南西の風曇後晴
十二日の氣溫最高二十度二最低六度九

滿洲國の娘々祭に就て（二）
奧村義信

山麓定期市は全くの廉賣デー

話かわつて毎年開かれる娘々祭には祭典と共に必ず山麓には定期市がたちます、建築用木材、アンペラ、馬具、農具ほか各種の古着、日用諸雜貨織工品、籠細工品等の取引の他に多いのは飲食店です、にんにくの臭い人いきれと香煙とほこりのまぶしい中に、當日は不思議な位、飛ぶやうに各種の商品が賣れて行きます、と言ふのは事實十に於ても一番の廉賣デーとも稱しての一番の繁昌ぶりが出されてゐるからです、日本商品の滿洲國向販路擴張策も此の現實の社會相を對照として大に考究さるべきものと信じます、尙この日は滿鐵會社並に鐵路總局でも一般參詣者のために汽車賃の割引が行はるゝばかりでなく臨時停車場まで設置されます、又滿洲國政府、滿鐵會社、協和會、滿洲文化協會の各機關は相呼應して廟會主義と王道國家思想の普及に努め、他面統制ある各種の高級ビラの配布、活動寫眞の映寫、其他花火……等々を舉納し當日の殷賑に更に一段の光彩を添へます

次に各地に於ける滿洲國側の主なる催しものとしましてはデャムギャラタヤンの支那芝民、野外劇、小車會、走車、中幡、青龍刀の劍舞、旱船、獅子舞（跑獅子）遊船舞、高脚踊、投槍、生人形（梅梢兒）各種見世物等で何れもみな傳統的に群衆の喝采を博してゐます、その中では一番呼びものとなつてゐるのは「生人形」の出しものです、當日の賑ひぶりを簡單に申上げますと、ポンポン打ちならす惡魔拂ひの「爆竹」のものすごき音が聞えるかと思ひますと御禮詣りの行事である（三）眼槍と言ふ、筒口三つ、爆竹が仕込れてゐる）願開きの群によろ槍を三すの上に仕込まれた一硫黃臭いヒューヒュー花火の香には、民衆は大概ぬごり狂つてしまひます、空からは樣々な花火が落ちて來ます花火の中には彩票一等の豚券も入つてゐます、それに連續的に民衆のあたまを泳まわる高脚踊りの出しものもあります

初夏を呼ぶ西公園に……
いよいよ明日から ボートが浮ぶ
今年から舟も四隻ふやして

首都の春も漸く酣となり西公園に出かける人々も日一日と殖えて來る一方である、當地方事務所ではいよいよ來る十四日から『池に』ボートを浮べることとしたが今年は散策の客も多からうといふのでボートも從來の八隻に新しく四隻を加へて十二隻とすることにし、當日例により神官を招いてボート開きを午前十一時から盛大に行ふことになつたが、散策者が多くなるにつれて樹木の枝を折り、或は辨當の包み紙を撒き散らしたり、甚だしきは裸体で池に飛び込むやうな者まで出始めたので、當局では早くもこの點に神經を尖らせ『首都』の公園としての面目を保持するとともに殊に日本人としての體面を汚さぬやう今から警告を發してゐる

吾等の公園を大切にしやう
荒木さんのお話

おについて荒木地方事務所長のお話

吾等の公園を大切に致しませう、設備も肝腎ですが出入する人々の心掛次第によつて公園はいつまでも『美し』く保たれませう、辨當がらを棄てたりするやうなことでもお互に注意すれば何でもないことで、公園に限らず一般の道路でも自分の家の前は自分で毎朝お掃除したいものですこの點は西洋人はなかなか感心で公徳をおかすやうな人間は野蠻人として排斥されてゐます新京も今では滿洲國の首都となり各國からも遊覽客も見えるでせうしそれでなくとも滿洲人が澤山ゐる手前でもお『互に』注意してもらいたいものです殊に澤山人々が出入する公園からぜひ始めて頂きたい、こうして吾等の公園として何處までも可愛ゆく育ててゆきたいものです

斷然、黄塵地獄から救ふ珍案？
首都の外廓に○○○○○ 樹木を植ゑ付ける
凡そ百町歩に經費一萬圓
實業部の斡旋奏効 建設局も大賛成

グレート新京を目指して急速に膨脹發展行程を急いでゐる國都新京は解氷と共に今まで凍結してゐた道路より濛々と上る土煙は行人を惱まし殊に四、五、六の三ケ月に亘り全滿『一帶』を吹き巻くも滿洲特有の南西よりの風は之に拍車をかけ、所謂黄塵萬丈に目と云はず鼻と云はず黄塵の洗禮を受け、一度外出すると衣服がほこりだらけになると云ふ、黄塵地獄に落入るので衛生的或は市街美を保持する見地よりこれが『對策』に關し國都建設局民政部衛生司等關係各方面に於て協議を重ね、具に滿洲國首都としてはづかしからぬ面目を保つ意味に於て、又向暑に際し、傳染病猖獗を目睫に控へこれが撲滅に完璧を期する方法として、今回實業部林務科の斡旋で國都建設局に於て新京西南方『外廓』一帶百町歩に亘り經費一萬圓を投じしごうの木を植へこの新京を黄塵地獄より救ふ一策となすことに決定近く工事に着手する事となつてゐるが植樹の曉には黄塵萬丈も非常に緩和されるものと見られてゐる

[illegible] 地公園にて局員家族相集ひ園遊會を催し小運動會寶探し模擬店等の余興に晩春の一日を過すと

今度はカフエーの改善を嚴重に
暴利やチツプの强要などで
井上保安主任 遂に乗り出す

最近市内のカフエーで當局から指定された定價以外の料理を客にすすめ暴利を貪つてゐるカフエーが二三あるため新京署ではこれ等に對し徹底的に『改善』を命じ且つ取締ることとになつた、又これとともに最近内地朝鮮方面から來た女給の内には新京の女給規則を知らないためチツプを强要するものもあるため同署では十二日午後二時から市内カフエー業者を招集し井上保安『主任』から訓辭をあたへた、なほ各カフエーでは組合で印刷したメニユーを各テーブルに置くことに決定した

體育ボール短期講習

先年滿鐵に於て體育奬勵並に健康增進の一助としてバレーボール規定の一部を改めて體育ボールなるものを制定し大衆スポーツとして普及奬勵をなしました處日淺い今日非常なる隆盛をなし單なる大衆スポーツに止まらず專問的競技として將來は各地に於て大會或は對抗試合を開催さるる事と思はれるので新京體育聯盟では有志同好者を募集し專問的に左記に依り講習會を開催

▲指導者眞出一年氏▲期日五月十六日より二十日まで五ケ日間毎日午後正四時半より▲場所地方事務所前コート▲會費不要▲申込十六日正午まで所屬或は住所と氏名を社會係へ

指導者眞出氏は先年まで全大連体育ボール部の重鎭として

天下好匪團擊破
奉天警備軍騎兵隊の殊勳

【奉天十一日發國通】法庫縣地方康平方面には天下好匪首の合流匪賊約五百名が蟠据し……治安を攪亂しつつあるので奉天省警備軍騎兵隊はこれが討伐に向ひ七日匪賊と衝突激戰約十二時間に及んだこの間敵匪は機關銃、手榴彈を以て强硬に抵抗し、警備軍側に戰死九負傷十八名を出したが勇敢なる騎兵隊の猛襲に敵匪は無數の死体を遺棄して逃走した

採擇された人である

阿片小賣の賣付始まる
新京は十名

附屬地内滿洲國人の阿片專賣實施は既報のごとくであるが全滿各署衛生主任並に專賣局員會議の結果小賣人の受付は各署衛生係で十日から行つてゐるなほ新京の小賣人は十名と決定した

大相撲 愈よ十八日來京

大連で四日間の興業を行ひ果然人氣を沸騰せしめた關西相撲協會は愈よ十八日午後三時三十五分來京十九日、二十日の二日間新京で大相撲を行ひ二十一日午後十時奉天へ向ふ事となつた

八大泉眼を探ねて
有望！有望！ 水は確かに豊富だ
水源地調査から歸つた 一行お土産話

十一日八大泉眼の實地調査に出かけた、新京地方事務所山内地方係長、松田水道、奥津土木兩係主任、新京醫院佐々木藥劑士の一行は、高揚范家屯署長ほか『同地』有力者とともに八大泉眼を中心に同地一帶に亘つて湧水狀況、水質その他について調査し即日歸京したがそのお土産話

飲料、大新京の水問題を解決すべくわざわざ范家屯へ、八大泉眼といふがそれどころではない、到るところ無數といふほどである、尤も水の湧き出る場所は帶狀で幅は狭いものだが長く續き一帶は低くなつてゐる、即ち恰度南西約半里ばかりの所で歩けないほどの濕地であり確かに湧水は豊富だしかしこれが年中はてしなく取れるかどうか、ボーリングを入れて見れば大体判るが當日はその準備がなかつたので知ることが出來なかつた、『水質』もアンモニアがなく立派に飲める、が細菌の有無その他は研究のうへでなくてはわからない、何分范家屯と新京ではその間二十キロの距離があり鐵管代だけでも一メートル三十圓と見て總額六十萬圓も要するといふのだからさう簡單にゆかない、現在の新京では今のところ何うにか間に合ふ程度の水はあるにはあるがなほ將來不足する場合を考へれば今から豫定して置く必要もあらうしいづれにしても專門家を聘してよく調査して置くことになるであらう

男女共學制と教育革新更正
全國校長會議から歸つた 江部高女校長の談

第十二回全國女學校長會議は既報の如く去る九、十の兩日に亘つて京城大學講堂に於て盛大に擧行されたが東京を初め遠く臺灣、北海道青島方面より多數の『出席』者あり總人員二百六十九名に達した新京からは江部校長出席し十一日午後七時五十分着鳩號で歸京したが同校長を訪へば語る

此度の會議には色々と變つた議案が提出されたが、その主なるものは教育革新更正に關する根本問題で現在の教育には何處かに缺陷があると見えてその教育效果があがらぬのみならずあく迄思想『善導』に奔走してゐるにかかはらず哀しむべき結果が續出する有様であるのでこれを根本的に改革する必要が目下の急務なので詳細の調査を本協會で行ひ男子側とも連絡をはかり實行運動として地方理事と連絡を保ち大々的な實狀を調査する事となつた、もうひとつは女子高等教育促進の爲男女共學制を認むる樣『輿論』を喚起する事でこれは萬場一致で可決し實施する事となつた實際に於て女子の高等教育といふは經濟上許されぬだけに當然必要な問題でこれがいよいよ實施される事になれば專門學校以上の學校であれば何處の學校でも自由に入學出來るわけで世の識者間には早くからこの男女『共學』が唱へられ小泉都子、高島米峰外三名は去る三月秋田衆議員議長に男女共學請願書を提出した事實もあり何れ實施されるものと思ふが時日の問題であらう

娘々祭に
安東商品の出張賣出し

【安東電】年中行事の雄とされてゐる鳳凰城の娘々廟大祭は安奉沿線中大石橋に次ぎ近村から參詣に押寄せる善男善女の群で雑踏するが、此の大衆相手に安東輸入組合では來る二十一、二、三日の三日間鳳凰城驛前廣場で滿人の嗜好に適せる洋品雜貨、玩具、食料品などの大々的出張販賣をなし安東商品の販路を開くべく計畫をたててゐる

蔣介石の密使二名 身柄移牒さる

昨年十二月以來東支南部線三河に居住する趙英山、高志謙の兩名は張學良と氣脈を通じ、滿洲國内に赤血抗日軍を組織するべく密令を受け本年一月中旬范家屯に潜入し密に募兵中なるを探知した范家屯署は時を移さず右兩名を逮捕身柄を新京に護送した爾後首都警察廳特務科で嚴重なる取調べを行つてゐたが趙は蔣介石よりの密令並に赤血抗日軍々需廠長に任命する旨の辭令を所持して居り、當局の峻嚴な取調に包み切れず犯行を自白したので昨十一日新京地方法院に身柄並に調書を移牒された

▲オリエントのルミ子○○隊の兄さんはどうしてもあきらめられず二年、三年はおろか一生かかつても捜がし出すとえらい鼻息です▲こちのスヰ子過去の悲哀の涙を胸中に秘めて總てを忘れたかの樣に酒とお白粉で悲しみを濁してゐる▲ミス東洋のミヨ子、滿鐵の關○○郎振込の彼氏と春らしいい所を西公園の池の邊で演じてゐました▲ミス東洋で目下賣出中のヒトミあちらこちらのテーブルで無盲の愛嬌を振りまいてゐる果して誰の手に落ちつくか

梅ケ枝町の娘々祭
きのふの賑ひ

新京總領事館前梅ケ枝町の曹善寺境内に在る娘々廟も十二日は祭日だつたので參詣の老若男女絡繹として非常な賑ひを呈した

軍國讀本 ……（九）……
◇……海軍編……◇
未來の戰爭
水平線上煤煙を認めるは昔話

『艦船』兵器の進歩能力の増進は直に戰術上に反映する、其の最も著しいのは戰略戰術の範圍が擴大したことで航空器や潜水艦で遠距離の偵察や搜索が出來るし、無線電信の通話に依つて數百浬、數千浬の外にある艦船の進退を指令する事も出來る、砲銃魚雷の能力増大に伴れて戰闘距離は延長して次第に廣に擴まり更に潜水艦や

『航空』機の参加に依つて戰闘にも廣がつた。今後の戰闘は先ず空中から始められやう、無線電信に依る敵の所在探知、並に敵の通信の妨害、及空中偵察に伴つて起る兩軍航空機の空中戰闘が起る、兩軍艦隊は巡洋艦の搜索列を作り、主隊は其後方より驅逐艦隊、飛行機等を直衛として、敵の潜水艦に對し警戒しつつ近接する。

『水平』線に煤煙を見たのは昔のことで、將來の海上戰闘に於ては、氣球か檣が水平線上に現れて彼我の近接を知る様にならう。

やがて兩軍の搜索列が接觸し次で前衛部隊の間に戰闘が起り兩軍主隊は續々飛來する無電に因つて戰闘展開の方行を判斷し戰闘序列に展開を命ずる。

既にして兩軍主隊からも『檣が』水平線上に見える様になる、距離は三萬メートルもあらう、と思ふ間もなく四十糎の巨彈が唸りを生じて、宙を切つて飛ぶ、艦々戰闘開始だ、司令長官座乘の旗艦から艦隊を眺めると砲煙の切れ目から白波を蹴つて敵艦に向つて驀進して行く味方の水雷戰隊の颯爽とした勇姿が見えるもう此の時分になると本隊の四周は敵の砲彈が捲起す水柱に圍繞されてしまつてゐる。

『艦船』の乘組員 軍艦に艦長、副長、航海長、砲術長、水雷長、通信長、運用長、飛行長、機關長、工作長、軍醫長、主計長、副砲長、分隊長、（各科、砲科、航海科、主計科の士官、兵科は特務士官もなる）乘組、特務士官、准士官、下士官、兵卒其他の艦船も其性能に應じ定員令に依つて一定してゐる。

（圖は海軍航空隊と水雷戰隊の活躍）

貨物附添の薩摩守を征伐
これからは容赦ならぬと 新京驛いきり起つ

新京驛では最近貨物附添人にして無切符で乗車する者が續出し毎日八件乃至十件の無切符乗車を發見してゐるので過般來貨物附添人は三等乗車券を購入しなくてはならぬ事を宣傳徹底に努めてゐるにも不拘、依然無切符乗車は絶へず且つ再犯者も出て來る有様なので今後は規定によりきびしく倍額の乗車賃を申受ける事となつた

郵便局家族會

四平街郵便局選友會では來る十四日日曜日午前十時より當

湯崗子の娘々廟祭に
執政代理御差遣

溥儀執政は湯崗子の娘々廟祭に際し、大禮官許寶衡、外交部總務司長朱之正、稽査姜堯公、同朱叔同の四名を御代理特派し參拜せしめた、因に湯崗子の娘々廟は建國直前執政が暫らく同地に御靜養の節信仰遊ばされし因縁深き廟祠で、執政は特に昨冬廟碑を献納せられた

謹告

本會會長手塚豊次郎殿病氣中ノ處十一日午後四時逝去セラレ候就テハ今十三日途中行列ヲ廢シ午後四時ヨリ曙町長春寺ニ於テ葬式相營マレ候ニ付御會葬成下サレ度候

五月十三日

新京長野縣人會

鳥取縣人諸士に告ぐ

久々にて縣人相互の親睦を計るため近日野遊會開催致し度きに付最近新京縣人名簿作製上午御手數ハガキにて御氏名、原籍、現住所、勤務ケ所、電話番號、等御記入の上來る十五日迄市內蓬萊町一丁目德本商店宛て御一報願上候（電話三四三二）

發起人

告示第八號
春季清潔法施行ノ件

昭和八年五月十日　新京總領事　栗原正

管內居住者（滿鐵附屬地ヲ除ク）ハ左記標準ニ依リ檢查前日迄ニ清潔法ヲ施行シ警察官吏ノ檢查ヲ受クヘシ但シ指定期日迄ニ施行シ難キ者ハ其ノ事由ヲ具シ當館警察署（新京以外ノ地ニ在リテハ所轄警察官吏派出所）ノ承認ヲ受クヘシ

記

一、雨天ハ勿論曇天ノ日ヲ避クヘシ
二、住宅及物置等ニ在ル家具其ノ他移動シ得ヘキ物品ハ全部交通ノ妨害トナラサル屋外ニ搬出シ家屋內外ノ掃除ヲナシ通氣射光ヲ計ルヘシ
三、天井又ハ床下ノ內部等出入シ得ヘキ構造ノ家屋ニ在ルヘク天井裏又ハ床下ヲモ掃除スルコト
四、倉庫內ニ格納セル多量ノ物品等ハ出來得ル限リ屋外ニ搬出シ尙屋外ニ搬出シ得サルモノハ戶ヲ開放シ通氣射光ヲ計リ且ツ內外ヲ掃除スヘシ
五、疊、敷物、寢具、衣類等ハ三時間以上日光ニ曝スヘシ但シ日光ノ爲メ褪色ノ虞アルモノハ蔭乾トナスモ妨ケナシ
六、水道栓、井戶、日常食料品置場、厨房、浴場、煙突、穴倉、地下室、塵芥箱、下水溜、便所、及其ノ附近ハ特ニ入念ニ掃除シ其ノ破損部分ハ之ヲ修理シ置クヘシ
七、邸宅內ニシテ濕潤ノ場所ハ土砂、石灰、又ハ木灰等ヲ散布シ其ノ乾燥ヲ計ルヘシ
八、塵芥其ノ他汚物ハ火災ノ虞ナキ場所ニ於テ燒却スヘシ
九、工場其ノ他常ニ公衆ノ出入スル業態又ハ位置ノ關係上不潔ニ陷リ易キ場所ハ特ニ注意シ丁寧ニ掃除スヘシ
十、前各號ノ外警察官吏ニ於テ特ニ指示シタル事項ハ嚴重ニ勵行スヘシ

追テ檢查日割ハ左記ノ通リ

春季清潔法檢查日割

月日	區域
五月二十日	北門外大經路以東一圓
五月二十一日	北門外大經路以西一圓
五月二十二日	南嶺電城子吉長一圓、懷家溝派出所管內一圓、四洮派出張所管內一圓

新京區公示第五號

新京區區長左記ノ通指名セリ

昭和八年四月一日

南滿洲鐵道株式會社 新京地方事務所長 荒木章

擔當區域	國籍	住所	職業	氏名
第一區	日本	東二條通一番地	保險業、運[illegible]	下徳直助
第二區	同	三笠町三丁目七番地	紙卸商	北原廣
第三區	同	吉野町一丁目二番地	貸家業	島名福十郎
第四區	同	祝町二丁目二十ノ四	請負業	田中卓二
第五區	同	入船町四ノ一九ノ一四	貸家業	小澤禎吉郎
第六區	同	住吉町二丁目一番地	製材業	小松象松

趣味と家庭

注意一つで簡單に出來る
ネルやセルの家庭洗濯法

セルやセルは少し注意さへすれば、家庭で立派に洗濯ができます、先づ第一に肝心なのは洗濯液ですが、アルカリ性のものは毛質を非常に弱めますから、マルセル石鹸のやうなアルカリのない上等の石鹸を用ひねばなりません、石鹸の量は水一升につき三匁くらゐでよろしいです、まづ熱湯で石鹸を溶かし湯が人肌くらゐに冷めたとき、アンモニア水小匙一杯ほど加へてよくかきまぜ、それに洗濯物をつけます「洗濯物はブラシでよく塵埃を拂つておく方がよろしい」盥にはきつちりと何か蓋をして湯が冷めぬやうにして二三十分間おいてから、その洗濯液の中でよく振り出すやうにして洗ひます、決して揉み洗ひしてはいけません

かうすれば大抵の汚れは落ちますが、特に汚れのひどい部分は板の上に擴げて、ごく軟いブラシに石鹸をつけてかるく擦ります、若しあまり汚れがひどくて一度できれいにならないものは、二回三回と洗濯液を新らしく取りかへて洗ふのがよろしいです、無理にきれいにしようとすれば非常に地質をいためます
濯ぎもやはり微温湯の中で振り出すやうにして濯ぎ、きれいになつたら終ひの濯ぎ湯の中に醋酸を少し入れ(一寸酸いくらゐに)洗濯物全体をよく浸しておけ濯ぎをします、そして絞らずに板の上に出してそつと手で抑へて水氣をきり風通しのよいところでなるべく早く乾かせます、乾いたならば更に霧ふきして、アイロンをかけ仕上げをするのです

寫眞を お撮りになるなら

▽…一口に寫眞と申しましてもその目的によつて、誇張的なお化粧をした方がよろしいこともあり薄化粧で極く自然的なものがいゝ場合もあるので一樣には申されませんが極く普通の場合でしたら先づ白粉は白に近い薄い肌色が一番美しくみえます黒色や赤は、普通の乾板の時には、まうきれいにうつりません。
▽…頰紅は、平常のお化粧には是非必要のものですが、寫眞にはさうかすると黑く見えるのでお塗りにならない方がよろしうございます。又鼻の兩わきには、頰紅か眉墨で薄く線をひきますと、鼻が高くお顏が立體的にみえます、又目が細い場合とか、マブタのはれつぼつたい方は、アイシャドウを塗ります但しあまりアイシャドウが濃いとお化粧がおくぎく見えます
▽…また口紅を全然お塗りにならないと、唇が唾液で濡れて光つてうつりますから、あまり濃くない程度に口紅を塗ることが必要です。それにお顏と一しよに、手のお化粧も亦必要です。顏と手の對比は普通の場合は特別極端に感じられませんが、寫眞になると黑と白になるのではつきり目立ちます。
▽…最後に、いよいよお寫しになる前に、寫眞師に向つてその目的を話し、どんな風にうつして貰ひたいかをはつきり知らせることが必要です

海の外から
シカゴ博の新計畫(二)(三)

(一)
旣報近く開催されるシカゴ市制百年記念博事務局では、夜間入場者に晝間と同一の享樂感を與へるため、場內步行者の影さへ映らぬ程のライトを使用する事になつたと
(二)
同博場内の東洋館に全代未聞の東洋趣味萬點で設計されつゝあるラマ僧寺院は內部一体を寶物化して一七六七年の古文献に倣ひ滿洲王夏の部屋と命名しやうではないかと目下協議中である
(三)
又場內にアブラハム、リンカーン館があるが、館內にリンカーンの誕生した家其儘のものを建て樣と當局は寄々相談中

百二十石の 大豆玉蜀黍等ペチヤン

〔安東發〕熱城郡土城面土城洞船夫崔炳益外二名は高瀨舟に大豆、玉蜀黍等約百二十石を積み鴨綠江を下航中八日午後六時卅分進路を誤り鐵橋桁柱に衝突し破船した爲め大豆玉蜀黍と共に江中に沈沒した船夫等は辛じて助かつた

ぶゑのすあいれす號就航日

大阪商船では滿洲視察團、旅行團の増加により到底現在の大連航路船舶のみにては船客を收容する事が出來ないので對策研究中であつたが今回滿鐵の諒解の下に南米航路ぶゑのすあいれす丸(九、六二五トン)を臨時に大連航路に就航せしめ急場を凌ぐ事となつた、同船船は一等六十名、二等百五十四名、三等八百五十六名の收容力があるなほ日程は
大連行
神戸發　二十一日正午
門司著　二十二日早朝
門司發　二十二日正午
大連著　二十四日朝
大連發　二十六日午前十時神戸行
門司著　二十八日正午
門司發　二十八日午後一時
神戸著　二十九日早朝

四洮鐵路北方部落の火事

〔四平街支局發〕十日午後七時半頃富市四洮鐵路局北方北溝部落滿人四洮局日傭劉鳳起方より出火し滿鐵消防隊では直に出動消火に努めたが南風に煽られ隣家四軒を全燒八時半鎭火原因は煙突の破損個所より損害は約九百圓

龍江行き遲延

〔四平街支局發〕十一日午前十一時二十分四洮線經由南行の貨物列車が四平街北站附近にて機關に故障を生じて立往生を演じ救援機關車を連結ヤット運行したが此れがため十一時三十分當驛發の龍江行急旅客列車は約廿分遲延した

ラヂオ

十三日(土)
奉天后四、〇〇レコード錢行金組和漢商業情社
新京后四、三〇演藝
新京后五、〇〇講演日滿の親善ハ言語カラ吉長鐵路中學校長陳樸安
新京后五、三〇ニュース(滿洲語)
東京后六、〇〇ニュース東中央放送編輯
新京后六、三〇演藝
新京后七、〇〇ニュース(英語)
新京后七、一〇ニュース(露西亞語)
新京后七、二〇ニュース(朝鮮語)
新京后七、三〇ニュース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
新京后八、〇〇演藝
東京后八、三〇時報
東京后八、三一ニュース東京中央放送局編輯

切られに行く

黑「七十」は贊成である。それを黑(へ)なぞへ凹んでゐては、白は悠々と隊伍を整へて「七十」と退却して行くのであるさうなつては黑の形は低地へ壓迫されて慘めなものである。
そこで黑斷乎として『七十』と撥ね上げ、白「七十一」の時「七十二」と粘いで白の退路遮斷の氣勢を示したのである。
白『七十三』は目をつむつて切られに行く途の事である。
かくて黑は『七十四』と猛然と撥上げ、白「七十五」と切り黑『七十六』と粘じ遂は論のない所である。

二間の開き一向に痛痒を感ぜぬ
(九) 黑頭巾評

黑『六十六』の二間開きは感心出來兼ねる處である。
この手で惜しいやうだが一所に(い)と撥ねてしまひたいの氣がする。
白は(ろ)と伸びざるを得ない所である。で出來るならばもう一本に(は)と押して見たいのだが、白も今度は言ふ事を聞いて與れないと困るから、まあそこは後廻しにして(三)の白へ(に)と尖み付け、白『八十一』と交換して、敵の形を重くしてから黑『七十二』と高く攻めて見たかつた。
するど黑(に)の尖み付けは白は今直ぐには(ほ)と打ち込んで行けない意味があるから黑の防備にも兼ねた頗る働きのある手となるのであつた。
それを白陣からは近く敵陣へは遠く、而も黑の三ノ三を明け放しにして、オドオドと二間に開いたのでは、白は一向に痛痒を感ぜぬのみならず、延いては白

多大の犧牲

『六十七』と附けて黑の形を彌が上にも凝らして見やうなぞとの横着な了見を懷かしめたるの鹽梅からざるものがあつた。
なんぞと言ふと如何にも黑ばかり惡い樣に聞こえるが、滿更さうでもないのである。
白『六十七』は好んで敵の堅陣へ突撃して行くやうなもので習者の興せざる所である。黑の退嬰的な所へ附け込んで聊か舐め過ぎの結果黑『八十二』迄となつて白に多大の犧牲を拂ふに至つた譯だが横着者の良い戒めである。
黑『六十八』はこの際好い手であつた。それを『六十九』なぞと立つのは多少利かされ氣味である。
白六十九は『七十』なぞと引いて居ては黑に六十九と立たれては氣の利かぬ事おびたゞしい白はもう損得を度外視して意氣でさう撥ねて見る所である。

圍碁新手合 (一局の九)

三段　石塚行誠
五子　高橋直次

手	位置	記號
六十六	ヌノ十七	イ
六十七	ルノ十七	ロ
六十八	ルノ十八	ハ
六十九	ヌノ十六	ニ
七十	ヲノ十七	ホ
七十一	ルノ十六	ヘ
七十二	ヌノ十八	ト
七十三	チノ十六	チ
七十四	ヲノ十六	リ
七十五	ヲノ十七	ヌ
七十六	チノ十八	ル
七十七	カノ十五	ヲ
七十八	ヲノ十五	ワ
七十九	ヲノ十四	カ
八十	チノ十五	ヨ
八十一	カノ十六	タ
八十二	ルノ十四	レ

下司の智惠

こゝでは白(と)と覗いても黑は(ち)と粘かずる『七十八』と立つのである。
で白(ち)黑(り)白(を)黑(わ)白『八十二』黑『七十七』白(か)黑(ほ)となり白は擒敗に終るのである。
實は白『六十九』と粘ねる前に先づ(と)覗き黑(ち)と繼がさして置けば良かつたのだがこれは後で氣が付いた下司の智慧で何うもならぬのである。
白『七十七』によん所なく行つた手で黑『八十二』と尖まれてはえらい損になつたものである。

天津春季大競馬終る

〔天津十二日發國通〕當地の春季大競馬は本日を以つて終つた呼物のチャンピョンレースは
一着　アポロ
二着　マノグリット
三着　ゴ　フレイ
の順で決勝點に入つた

吉林建設事務所小幡氏挨拶

國道吉林建設事務所事務係小幡昇氏は事務所移轉と共に十六日午前九時發の臨列時車で赴任することゝなり十二日挨拶のため本社來訪

張上將招宴

目下凱旋中の熱河省警備司令官張海鵬上將は十二日午後六時よりヤマトホテルに武藤關東司令官以下關東軍と大使館、關東廳、各首腦部を招待晩餐會を催すことゝなつた

寄附金申出

十一日市內錦町二丁目近藤正三氏より亡父正吉氏の四九、忌明に當り傷病兵慰問として金參拾圓也寄贈方地方事務所に申出でたので直ちに新京衞戍病院に寄贈の手續を終つたまた同日市內吉野町二丁目東いわ氏より亡夫仙松氏の冥福を祈る意味に於て新京神社及新京時局後援會にそれぞれ

野菜相場

新京市場小賣相場表
五月十一日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	一八	蓬蓮草	一一
サツマ芋	四四	大連物	一〇
山芋	三	里芋	一八
ワクチ芋內地	一八〇	赤芋內地	一五
蓮根	一二〇	牛蒡	〇五
丸大根	一五六	白大根「大連」	〇〇四
玉蔥	一四	赤大根	〇六八
生姜	〇六	人參	〇六
ワサビ	〇八	ウド	二〇
玉菜	二九	內地蔥	三〇
馬鈴薯	〇〇	カブラ大小	三〇
ユリ子	一二	水菜同	〇〇
セリ內地	六〇	ミツ葉大小	〇八
春菊大連	五〇	ワケギ內地	一一〇
林檎	〇〇	胡瓜內地	〇〇
天津梨	〇五	內地梨	〇〇
キーブル	二五	ミカン	五一
	一一	西瓜	二〇

卵巢と子宮病

にはカタマリまで出來永い間苦しんだ私が手術せず治りました實驗談と藥草劑を同病の方に御知らせす
神戸市福原町六〇五角森本秀子

富士タクシーが
朝日タクシーと
改名致しました
倍舊の御引立を願ひます
御用の節は是非
電話二一九五番へ！
朝日自動車公司
新京富士町三丁目

日本橋通り
みしまや呉服店
電話二五三五番

當る十二日より三日間大公開

◎オール・トーキー
松竹蒲田超特作
北村小松原作
五所平之助監督
田中絹代主演
花嫁の寢言

何と寢言を花嫁が言ふのですぞ!!しかもそれがトーキーで聽けるに至つてはあ、皆樣！新婚早々の五所平之助監督が腕によりをかけて描き出す甘美な新婚日記！この可愛い寢言を聞いた男は果して……世の獨り者よ！どうぞ見ないで下さい

菊五郎格子　後篇
林長二郎主演　キング連載
子母澤寛氏原作大衆小說の映畫化！
冬島泰三監督　飯塚敏子　井上久榮　志賀靖郎
高松錦之助　坪井哲　小林重四郎　助演

長春座
松竹井營

內服藥 效め速き りん病 リベール

內服數時間後に青き尿を出し尿道の淋菌に作用し放尿と共に排泄す因て「うみ」去り痛み速く消散す

特製リベールは現代治淋藥中効め最も速き藥劑として內地は勿論諸海外諸國に到る迄大なる好評を博しつゝあり特製リベールを內服すれば生理的作用により直に腸粘膜より吸收され膀胱內に入つて强力殺菌性の尿と化し放尿時殺菌作用を行ひつゝ排出する効力を有す。由つて今迄憂鬱なりし患者も服藥翌朝より自ら爽快なる氣分に一轉す、その藥效の說明は茲に千萬言を費すよりも多くの服藥者の實話若くは數日間の試服に由つて事實を知られよ。

本劑の特徵は

一、服藥翌朝尿は藍色に變じ强きリベール臭を放つて排泄す同時に嘗へ難き快感を覺え、數日後にはその喜び頂點に達す。
一、今迄尿道に繁殖しつゝあつた無數の淋毒菌はこの恐るべき藍色尿に由つて美事殺菌作用を行ひ速かに體外に放出してしまふ故に煩はしき又危險多き自家尿道洗滌の必要更になし
一、特製リベールの藥效を確實に知るには服藥前と服藥後の尿を採り專門家に希うて顯微鏡檢査を施されるのが最も早道で服藥後日を追うて黴菌が滅び行く現象を視る事が出來る。
一、婦人のりん病も男子と同樣效め速し。

洗滌の危險

淋病に惱まされた人は必ず一度は尿道洗滌をやりたがる。さうしてウンと後悔する。尿道洗滌の恐るべき弊害の實例二三を示せば
一、尿道より分泌する膿を逆に尿道の奧へ押込むため黴菌は睾丸を侵し忽ち睾丸炎を起して恐しく腫れ上り疼痛と發熱とで身動きもならぬ程の苦痛を感ず
二、患者の尿道は劇しくたゞれてゐるから錐で刺す樣に痛む。その上更に藥物を注入して一層の刺戟を與へる。それがため膿の排出が却つて以前より劇しくなり、甚だしきに至つては血尿を出す
三、ゴム管やスポイトを、たゞれた尿道へ挿入し尿道の血管を突き破り出血せしむる等手療治の害却つて病氣を永引かす恐れあり。
四、藥物を强く尿道へ注入し黴菌諸共膀胱內へ押し込み、淋毒性膀胱炎、膀胱カタル等の餘病を惹き起すあり。
以上自家尿道洗滌は百害あつて効果の微弱なるものであるから最も注意を要す

藥價　五日二圓　十三日五圓　七日中三圓　廿七日十圓
發賣元　大阪市東區南久太郎町二丁目　竹村製劑所
藥劑師　竹村幸次郎　振替大阪三六〇番
內地海外到る處の藥店にあり

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第六十二回　黒船の難題（八）

果して、彼の絶叫は生命がけだつた。

附近にゐた徒目附の一人が苦々しく口をゆがめて近づいて來た。

『こりや、何をいふ？』

ぐいと、格之進は肩先をつかまれた。それを反撥しながら

『いや、いはしてくだされ……あの通譯官は國を……』

『こりや、默らぬか。番屋内の使節の耳に入つたら何とする』

『使節の耳に入ると好都合です。いはして下され……あの通譯官の素性を、このわしはよつく知つてをります』

『なに、素性とな？』

徒目付も義憤組の一人だつたとみえて、最初の權幕もどこへやら、大隊に格之進の僭越な言葉に釣られてきた。

『あの男の名は、乾典膳だ。立待臺場築造役人の典膳です。臺場の見取圖を盗んで、フランス軍艦へ逃げ込んだ賣國奴だ！』

『うむ……それほど素性を知つてゐるそちは、？』

『わしは、よつくあの男を知つてゐます。あの男、わしの顔を見ると逃げ出すにちがひない』

あくまでも、在往足輕の身分形態をすてまいとして、格之進は、わざと士分に似合はぬ輕卒な調子でわめき立てた。

『察するに、そちも、同じ立待臺場工事場にをつた者だらう』

徒目付は、輕く睨むだ。そして肩をおさへたまゝ足輕だちの群をやゝ遠ざかつてからいきなり格之進の耳元へ口を寄せて

『拙者にのみ、お明し下され、貴殿は、その見取圖持出しの張人を捜索のためにこの地へ參つたものでござらうが……』

『……………』

格之進は、思ふつぼにはまつたといはぬばかり、氣取られぬやうにニヤリとしただけで、それにはわざと答へなかつた。

『いや、それに相違ござるまい。してその乾典膳を、この場において召取りたいのが、貴殿の本音でござらう。御苦心のほどお察し申す』

やはり、徒目付は、耳元でささやいた。

『……………』

格之進は、こんどは、やつと首をたてに振つてみせた。

『だが、その極惡人を目前にしながら、手を出しかねるといふのがそれ、相手の背後には、おそろしい黒船が控へてゐるからぢや』

『いや、日本人の團結力で……』

『ところが、その團結力もこの場合、發揮することができぬのぢや。輕卒に兵を動かして、この濱邊を血で汚すのもいかがと存ずる』

『しかし、むざむざ彼奴に出會いたしながら、手をむなしうして引下るとは……』

格之進は、二重の苛立たしさを感じて、おもはず砂地を踏みにじつた。

『その御無念は、お察し申す。がいま事を荒立てゝは、かへつてフランス兵の怒りに觸れ、典膳をあくまでも、擁護するは必定、……機會をみるのがよい。機會はきつと到來する。拙者にも一存はあるによつて、この場はこの典膳とやらを見逃さるゝがよろしい』

『……………』

『のう、その話、後刻ゆるりと承らう。拙者も及ばずながらお力添へいたす……』

徒目付は、格之進のいきり立つ感情を抑へつけるやうに、懇々と說いた。しかも、外面はあくまでも、徒目付と足輕の格式の相違を四邊の人々に見せながら、嚴しい顔をして、格之進の肩の手をやつと緩めた。

格之進は、ぐつたりとなつて、瞳を砂地へ落した。

が、それで、やすやすと懷柔されたのではない。